

学校法人 兵庫医科大学

2023 年度 事業報告書



EMPOWER THE PEOPLE
心に響く医を、私たちがいるかぎり



～建学の精神～

社会の福祉への奉仕

人間への深い愛

人間への幅の広い科学的理解

目次

I. 法人の概要

1.	沿	革	-----	1
2.	設置する学校・学部・学科等		-----	2
3.	キャンパスの所在地		-----	3
4.	役員・評議員・教職員		-----	4
5.	組	織	-----	8
6.	関	連	法	人
			-----	10

II. 事業の概要

1. 2023年度事業計画〈重点施策〉 と達成状況	-----	11
2. 法人	-----	15
3. 大学	-----	24
3.1. 西宮キャンパス	-----	25
3.2. 神戸キャンパス	-----	31
4. 病院 西宮キャンパス	-----	38
5. 篠山キャンパス	-----	39
6. 梅田キャンパス	-----	41

III. 財務の概要

1. 2023年度の決算概要	-----	42
2. 事業活動収支計算書	-----	44
3. 資金収支計算書	-----	46
4. 貸借対照表	-----	47
5. 主要な財務比率の推移	-----	48
6. キャッシュ・フローの推移	-----	50
7. 財産目録	-----	51
8. 監査報告書	-----	52

I 法人の概要

1. 沿革

1971年	11月	学校法人兵庫医科大学寄附行為認可及び兵庫医科大学設置認可
1972年	4月	兵庫医科大学開学(入学定員 医学部 100名)
	4月	兵庫医科大学病院開設
1973年	8月	病院棟(1号館)完成
1974年	4月	中央動物実験棟(7号館)完成
	8月	校舎、講堂(3号館)完成
1978年	3月	兵庫医科大学大学院医学研究科設置認可
1980年	2月	病院・研究棟(8号館)完成
	8月	兵庫医科大学 ドイツ連邦共和国ザールランド大学との学術交流に関する協定を締結
1981年	11月	鳴尾浜総合グラウンド完成
1984年	4月	研究棟(9号館)完成
1994年	3月	兵庫医科大学病院 特定機能病院に指定
1995年	1月	阪神・淡路大震災 被災
1996年	10月	兵庫医科大学病院 災害拠点病院に指定
	11月	兵庫医科大学病院 エイズ拠点病院に指定
1997年	4月	兵庫医科大学先端医学研究所開設
	10月	兵庫医科大学篠山病院開設
	11月	立体駐車場完成
1999年	6月	兵庫医科大学リハビリテーションセンター開設
	9月	兵庫医科大学ささやま老人保健施設開設
	11月	兵庫医科大学 中華人民共和国汕頭大学医学院との学術交流に関する協定を締結
2000年	3月	病院棟(10号館)完成(開学25周年記念事業)
2001年	4月	兵庫医科大学附属看護専門学校開校
2004年	3月	兵庫医科大学 大学基準協会の相互評価により、大学基準適合の認定
	4月	兵庫医科大学病院 阪神南圏域地域リハビリテーション支援センターに指定
2005年	3月	平成記念会館完成(開学30周年記念事業)
	12月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価(Ver.4.0)の認定
2006年	3月	兵庫医科大学 中華人民共和国天津医科大学との学術交流に関する協定を締結
	11月	学校法人兵庫医科大学寄附行為変更認可及び兵庫医療大学設置認可
	11月	兵庫医科大学病院 PET センター開設
2007年	4月	兵庫医療大学開学 (入学定員 薬学部 150名、看護学部 100名、リハビリテーション学部 80名)
	7月	兵庫医科大学 関西学院大学との学術交流に関する包括協定締結
	7月	兵庫医科大学病院 兵庫県エイズ治療中核拠点病院に指定
	10月	兵庫医科大学 クロアチア共和国 Rijeka 大学医学部との学術交流に関する協定を締結
2008年	2月	兵庫医科大学病院 地域がん診療連携拠点病院に指定
	4月	兵庫医科大学病院 肝疾患診療連携拠点病院に指定
	7月	学校法人兵庫医科大学篠山市と兵庫医科大学篠山病院の運営と整備に関する基本協定を締結
2009年	3月	兵庫医科大学附属看護専門学校閉校
	4月	兵庫医科大学 入学定員が110名となる(緊急医師確保対策:2名、骨太の方針2008:8名増員)
	4月	兵庫医科大学病院 兵庫県認知症疾患医療センターに指定
2010年	6月	兵庫医科大学ささやま医療センター開院(兵庫医科大学篠山病院を改称)
	12月	兵庫医療大学大学院看護学研究科及び医療科学研究科設置認可
2011年	1月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価(Ver.6.0)の認定
	3月	兵庫医科大学 大学基準協会の認証評価により、大学基準適合の認定
2012年	11月	兵庫医療大学大学院薬学研究科設置認可
	11月	学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院設立
	11月	兵庫医科大学 アメリカ合衆国カリフォルニア大学サンディエゴ校と学術交流に関する基本合意書を締結
	12月	兵庫医科大学病院 急性医療総合センター完成(開学40周年記念事業)
2013年	3月	兵庫医療大学 大学基準協会の認証評価により、大学基準適合の認定
	5月	兵庫医科大学 ブルガリア共和国ソフィア医科大学との学術交流に関する協定を締結

2013 年	12 月	兵庫医科大学ささやま医療センター 日本医療機能評価機構より病院機能評価 (3rdG:Ver.1.0 一般病院 1) の認定
2014 年	3 月	兵庫医療大学 オーストラリア連邦アデレード大学と学術交流に関する基本合意書を締結
	4 月	兵庫医科大学 研究医養成枠として 2 名増員し、入学定員は 112 名となる
2015 年	4 月	兵庫医科大学 健康医学クリニック開設
	4 月	兵庫医療大学 社学連携推進機構設置
	4 月	兵庫医科大学病院 総合周産期母子医療センターに指定
2016 年	1 月	兵庫医科大学ささやま居宅サービスセンター開設
	2 月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価 (3rdG:Ver.1.1) の認定
	3 月	学校法人兵庫医科大学 篠山市との土地交換契約を締結
	12 月	ドイツ連邦共和国ビュルツブルグ大学医学部と学術交流協定を締結
2017 年	11 月	教育研究棟 竣工
2018 年	2 月	兵庫医科大学病院 兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院に指定
	3 月	兵庫医科大学 大学基準協会の認証評価により大学基準適合の認定
	4 月	兵庫医科大学病院 がんゲノム医療連携病院に指定
	6 月	学校法人兵庫医科大学 篠山市との病院運営継続の基本協定を締結
2019 年	2 月	兵庫医科大学ささやま医療センター 日本医療機能評価機構より病院機能評価 (3rdG:Ver.2.0 一般病院 1 及びリハビリテーション病院 (副機能)) の認定
	4 月	兵庫医科大学病院 兵庫県難病診療連携拠点病院に指定
	8 月	兵庫医科大学ささやま居宅サービスセンター 厚生労働省より「機能強化型訪問看護ステーション (機能強化型訪問看護管理療養費 3)」の認定
	9 月	兵庫医科大学病院 がんゲノム医療拠点病院に指定
	11 月	兵庫医科大学病院 小児がん連携病院に指定
2020 年	4 月	兵庫医科大学病院 地域がん診療連携拠点病院 (高度型) に指定
	12 月	新立体駐車場・デッキ棟完成
2021 年	8 月	学校法人兵庫医科大学寄附行為変更認可及び兵庫医科大学に薬学部 医療薬学科、看護学部 看護学科、リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科及び大学院 薬学研究科、看護学研究科、医療科学研究科 設置認可
2022 年	2 月	兵庫医科大学 日本医学教育評価機構により医学教育分野別評価基準 Ver.2.32 の認定
	2 月	学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院 閉院
	4 月	兵庫医療大学と兵庫医科大学が統合 4学部4研究科を擁する兵庫医科大学が誕生
	4 月	学校法人兵庫医科大学 宝塚市との医療等における連携に関する協定書を締結
	8 月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価 (3rdG:Ver.2.0) の認定
	10 月	兵庫医科大学健康医学クリニックを移転し、大阪に兵庫医科大学梅田健康医学クリニックを開設
2023 年	4 月	兵庫医科大学病院 地域がん診療連携拠点病院に指定

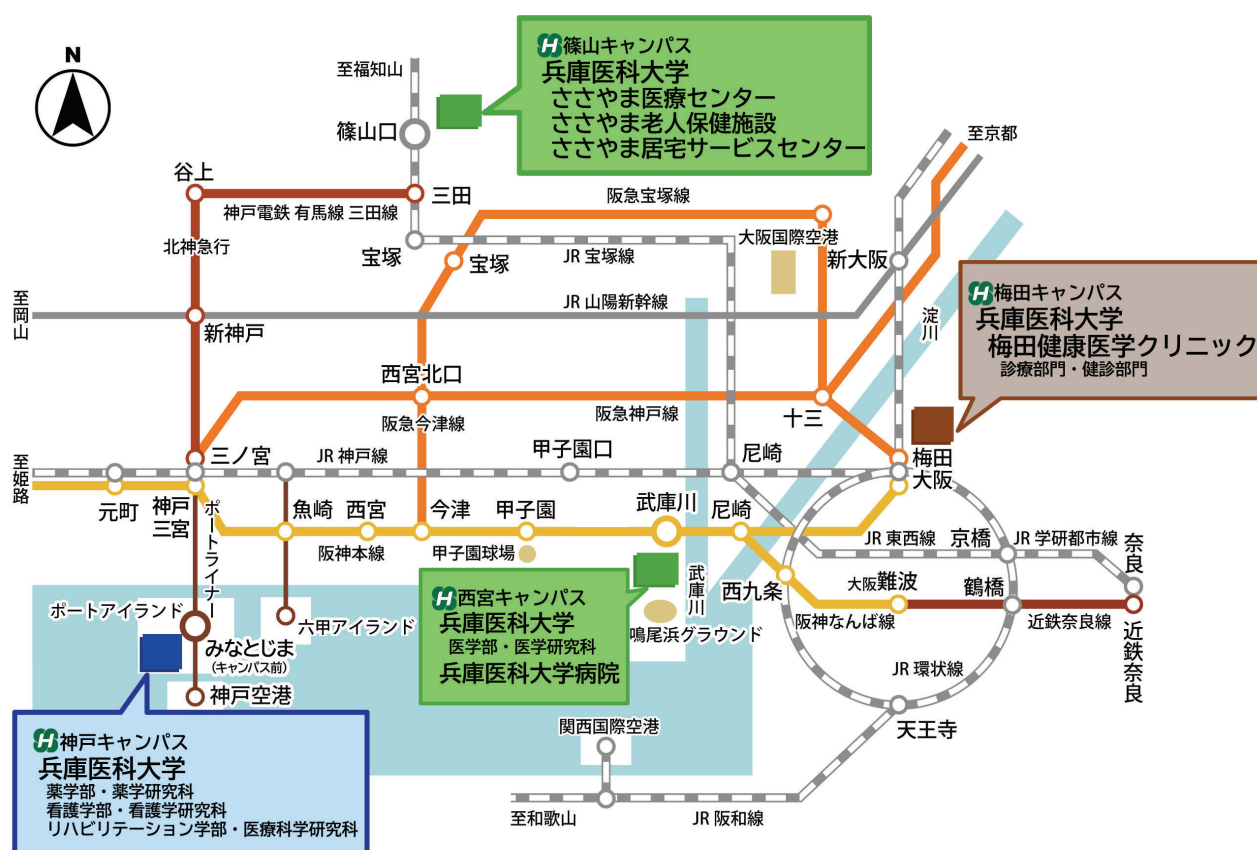
2. 設置する学校・学部・学科等 (2023 年 4 月 1 日現在)

学 校 名	学部・学科等名	入学定員	2023 年度 入学者数	収容定員	現 員
兵庫医科大学 (学長:鈴木敬一郎) 1972 年 4 月開学	大学院 医療研究科	60	46	240	200
	大学院 薬学研究科	3	3	12	10
	大学院 看護学研究科	8	5	16	20
	大学院 医療科学研究科	8	10	16	19
	医学部 医学科	112	112	672	703
	薬学部 医療薬学科	150	134	900	798
	看護学部 看護学科	100	121	400	450
	リハビリテーション学部 理学療法学科	40	47	160	191
	リハビリテーション学部 作業療法学科	40	34	160	166

3. キャンパスの所在地

学校法人兵庫医科大学

西宮キャンパス	兵庫県西宮市武庫川町1番1号(〒663-8501) 兵庫医科大学医学部 医学科 大学院 医学研究科 兵庫医科大学病院
篠山キャンパス	兵庫県丹波篠山市黒岡5番地(〒669-2321) 兵庫医科大学 ささやま医療センター 兵庫県丹波篠山市黒岡36番地(〒669-2321) 兵庫医科大学 ささやま老人保健施設 兵庫医科大学 ささやま居宅サービスセンター
神戸キャンパス	兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番地6(〒650-8530) 兵庫医科大学 薬学部 医療薬学科 看護学部 看護学科 リハビリテーション学部 理学療法学科 リハビリテーション学部 作業療法学科 大学院 薬学研究科 大学院 看護学研究科 大学院 医療科学研究科
梅田キャンパス	大阪府大阪市北区梅田1丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス13階(〒530-0001) 兵庫医科大学 梅田健康医学クリニック



4. 役員・評議員・教職員

○ 役員（2024年3月31日現在）

理事【定員 17～19名・現員 19名】

現 職	氏 名	常勤・ 非常勤の別	就任年月日	担 当 業 務
理事長	太 城 力 良	常 勤	2005.6.1	総括
副理事長	野 口 光 一	〃	2009.4.1	教学事業管理 経営企画（予算・中期事業計画を含む） 危機管理（総括） コンプライアンス 情報
常務理事	松 村 昭 夫	〃	2019.4.1	財務 物流・施設 経営企画（副） 危機管理（副総括、西宮キャンパス） コンプライアンス（副） 情報（副）
兵庫医科大学学長	鈴木 敬一郎	〃	2013.4.1	大学運営（薬学教育強化） ダイバーシティ推進
兵庫医科大学病院長	阪 上 雅 史	〃	2016.4.1	病院運営 健康医学クリニック 新病院建設 広報（統括・病院） 募金・基金
ささやま医療センター病院長	藤 岡 宏 幸	〃	2019.4.1	篠山キャンパス運営 危機管理（篠山キャンパス）
兵庫医科大学教授・副学長・ 医学部長	廣 田 誠 一	〃	2023.4.1	国際交流 緑樹会対応 広報（医学部）
兵庫医科大学教授・ 兵庫医科大学病院副院長	池 内 浩 基	〃	2022.4.1	臨床教育研修総括 キャンパス間連携 社会貢献
兵庫医科大学教授・副学長	田 中 稔 之	〃	2022.4.1	神戸キャンパス運営 危機管理（神戸キャンパス） 広報（神戸 3 学部） 社学連携
兵庫医科大学教授・副学長	土 田 敏 恵	〃	2023.4.1	研究科設置 看護人材連携 社会貢献（神戸キャンパス）
事務局長	佐々木 周一	〃	2023.4.1	経営企画（副） 人事 新病院建設（副）
理事	西 岡 清	非常勤	2016.4.1	病院事業管理
神戸市立医療センター中央市民 病院 放射線診断科 参事	石 藏 礼 一	〃	2022.4.1	
宝塚市立病院 総長	西 信 一	〃	2019.4.1	
兵庫県医師会 会長・ 八田クリニック 院長	八 田 昌 樹	〃	2022.8.1	
医療法人 協和会 理事長	北 川 透	〃	2023.4.1	
兵庫県 保健医療部長	山 下 輝 夫	〃	2022.6.1	
上ヶ原病院 理事長	大江 与喜子	〃	2022.4.1	
弁護士	木 内 道 祥	〃	2020.9.1	

監 事【定員 2～3 名・現員 3 名】

現 職	氏 名	常勤・ 非常勤の別	就任年月日
監事	森 田 泰 夫	非常勤	2019.4.1
社会福祉法人恩賜財団済生会支 部 神奈川県済生会 顧問	正 木 義 博	〃	2018.12.1
公認会計士	後 藤 研 了	〃	2021.4.1

1. 責任限定契約の締結について

本法人は、私立学校法及び本法人寄附行為 第 49 条の規定に基づき、非業務執行理事等との間で責任限定契約を締結している。

2. 役員賠償責任保険の締結について

本法人は、被保険者の範囲を理事・監事とする役員賠償責任保険契約を締結している。学校法人や第三者訴訟等により、被保険者が負担することとなる訴訟費用及び損害賠償金等を填補の対象としている。

○ 評議員（2024 年 3 月 31 日現在）

評議員【定員 40～44 名・現員 41 名】

氏 名	主 な 現 職
太 城 力 良	理事長
野 口 光 一	副理事長
松 村 昭 夫	常務理事
鈴木 敬一郎	兵庫医科大学長
阪 上 雅 史	兵庫医科大学病院長
藤 岡 宏 幸	ささやま医療センター病院長
西 岡 清	理事
小 山 英 則	兵庫医科大学教授・副学長
廣 田 誠 一	兵庫医科大学教授・副学長・医学部長
野 田 洋 子	ささやま医療センター看護部長
木 島 貴 志	兵庫医科大学教授・兵庫医科大学病院副院長
高 橋 仁 美	看護部長・兵庫医科大学病院副院長
蓮池 由起子	兵庫医科大学准教授・医学教育センター長
石 戸 聡	兵庫医科大学教授・教務部長
池 内 浩 基	兵庫医科大学教授・兵庫医科大学病院副院長
大 柳 光 正	梅田健康医学クリニック院長
佐々木 周一	事務局長
青 木 俊 二	兵庫医科大学教授・薬学部長
田 中 稔 之	兵庫医科大学教授・副学長
玉 木 彰	兵庫医科大学教授・リハビリテーション学部長
土 田 敏 恵	兵庫医科大学教授・副学長
今 野 理 恵	兵庫医科大学教授・看護学部長
大江 与喜子	上ヶ原病院 理事長
福渡 秀一郎	福渡医院院長・兵庫医科大学 後援会会長
澤 田 友 宏	海鼻会（同窓会）会長・社会医療法人ペガサス馬場記念病院 薬剤部
石 藏 礼 一	緑樹会（同窓会）会長・神戸市立医療センター中央市民病院 放射線診断科 参事
西 信 一	宝塚市立病院 総長
丸山 美津子	公益社団法人兵庫県看護協会 会長
笠 井 秀 一	一般社団法人兵庫県薬剤師会 会長
山 中 若 樹	医療法人信和会 理事長
北 川 透	医療法人 協和会 理事長
八 田 昌 樹	兵庫県医師会長・八田クリニック 院長
山 下 輝 夫	兵庫県 保健医療部長
岩 崎 敏 雄	西宮市副市長
三 川 博 英	神戸市健康局 副局長
堀 井 宏 之	丹波篠山市副市長
夏 莉 千 晶	東日本税理士法人 税理士
木 内 道 祥	弁護士
伊 賀 俊 行	一般社団法人西宮市医師会 会長・伊賀眼科クリニック 院長
間 瀬 教 史	一般社団法人兵庫県理学療法士会 会長
甲 斐 義 啓	宝塚市立病院 副事業管理者

○ 教職員数(2024 年 3 月 31 日現在)

1. 教員数

	西宮 キャンパス	篠山 キャンパス	神戸 キャンパス	梅田 キャンパス	合計
学長	1	-	-	-	1
副学長	3	-	2	-	5
教授	73	1	40	1	115
准教授	42	3	24	-	69
講師	83	2	27	-	112
助教	214	7	30	2	253
助手	-	-	5	-	5
合計	416	13	128	3	560

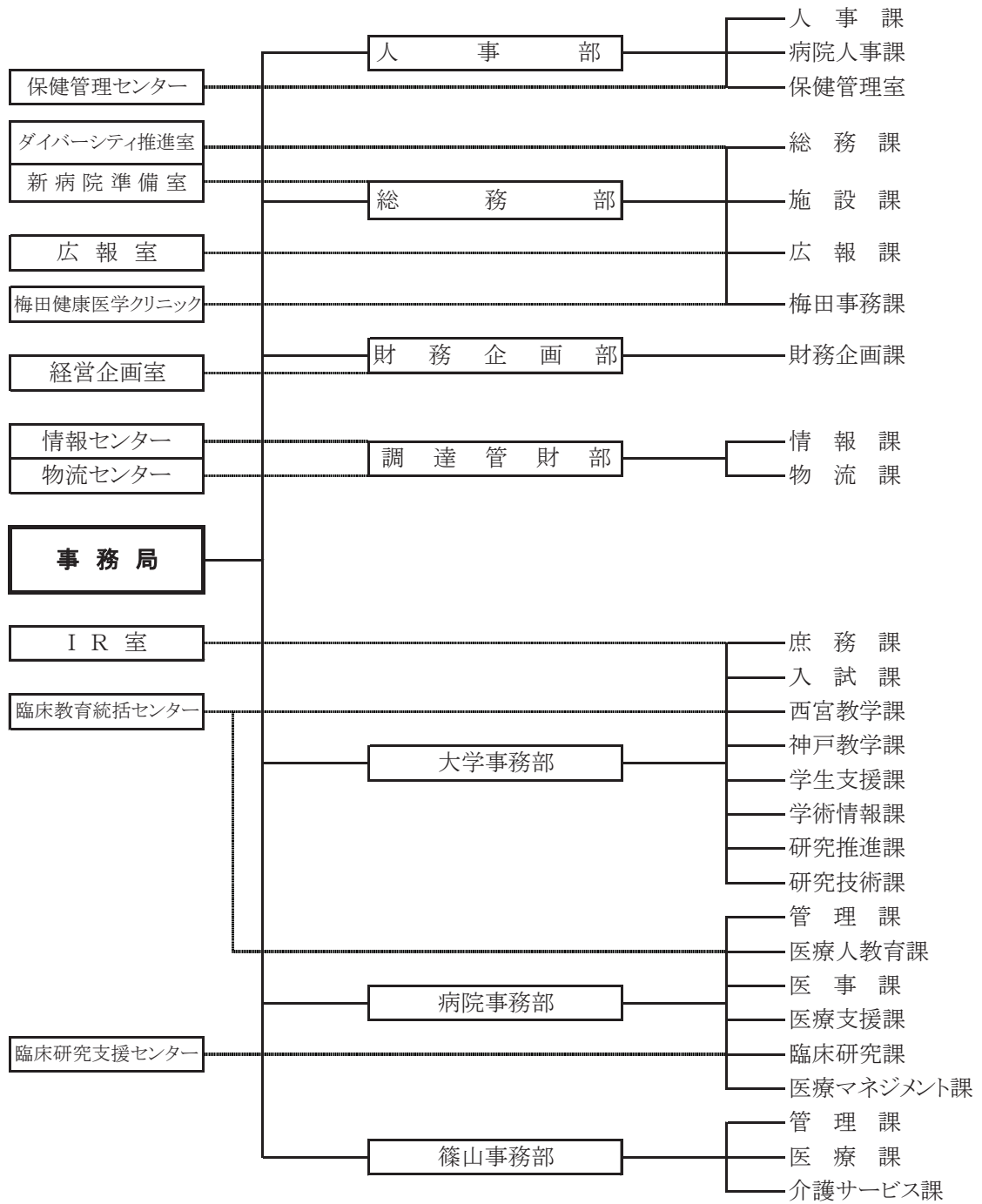
2. 職員数

		西宮 キャンパス	篠山 キャンパス	神戸 キャンパス	梅田 キャンパス	合計
医師	病院長	1	1	-	-	2
	梅田健康医学クリニック 院長	-	-	-	1	1
	病院助手	82	3	-	-	85
	レジデント	109	5	-	-	114
	臨床研修医	95	-	-	-	95
医療技術職員		1,416	190	4	20	1,630
その他技術職員		201	-	7	-	208
福祉職員		10	60	-	-	70
事務職員		443	53	50	17	563
技能・労務職員		163	31	1	-	195
合計		2,520	343	62	38	2,963

[illegible]

事務局組織図

2024.3.31現在



6. 関 連 法 人

○ 株式会社 エイチ・アイ

設 立 日	2004 年 12 月 1 日
資 本 金	1,000万円
所 在 地	西宮市武庫川町1番1号
出 資 者	学校法人 兵庫医科大学
役 員 構 成	代表取締役 松 村 昭 夫 常務取締役 香 川 静 麿 取 締 役 阪 上 雅 史 取 締 役 佐々木 周一 取 締 役 津 田 志 門 取 締 役 中 村 高 志 取 締 役 小 寺 斉 人 取 締 役 高 橋 仁 美 取 締 役 上 田 幹 夫 監 査 役 森 田 泰 夫
従 業 員	17名
事 業 内 容	飲食店・売店の運営管理、業務受託他

○ 有限会社 エイチ・アイ・サービス

設 立 日	2005 年 1 月 5 日
資 本 金	300万円
所 在 地	西宮市武庫川町1番1号
出 資 者	株式会社 エイチ・アイ
役 員 構 成	取 締 役 香 川 静 麿
従 業 員	3名
事 業 内 容	損害保険代理店業、業務受託他

Ⅱ 事業の概要

1. 2023 年度事業計画＜重点施策＞と達成状況

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
1	【事業名】 薬学部における質の高い入学生確保と在学生の学修支援の充実 【事業の概要】 1. 薬学部重点を置いた学生募集広報の実施 2. 偏差値向上を図るための戦略的入学者選抜の実施 3. 習熟度又は能力に応じた多様な学修支援の実施 4. 薬剤師国家試験対策の強化(継続施策)	1. ・薬学部にて特化した WEB コンテンツ制作について、本学薬学部を紹介する動画が完成し、本学薬学部の魅力を発信している。動画公開については、ホームページ、メルマガ、LINE、進学相談会により高校生等に発信している。また、(株)昭文社発行の旅行ガイドブック「ことりっぷ」と本学のコラボ冊子を高校訪問前に制作するなど、主に地方在住者に対してキャンパスの所在地神戸の魅力や生活面のメリットを訴求する新たな取り組みにより募集広報を強化している。 ・近畿圏外からの出願促進を企図して、今年度入試から中四国の高等学校に学校推薦型選抜指定校制の枠を設けた。6～7 月に実施した高校訪問において、担当の事務職員が周知に取り組んだ。 ・9 月には学校推薦型選抜の出願促進の為に中四国の高等学校に 2 回目の訪問を行っている。中四国からの学校推薦型選抜指定校制での出願は無かったが、指定校に指定した高等学校から学校推薦型選抜併願制での出願があり、合格に至っている。 ・9 月の連携校・重点校の高校訪問においては、薬学教育センターの協力を得て、薬学教育センターの取り組みに関する資料を高校に提供し、本学の教育支援について説明している。また、12 月には一般選抜、大学入学共通テスト利用入試の出願促進の為に予備校訪問を行っている。 ・薬学部教員が実施してきた探究活動支援について、全ての連携校に対象を拡大するなど、大学の取り組みとしての強化を進めている。また、アドミッションセンター 高大接続専門部会を設置し、支援体制を整えた。高等学校からは具体的な相談を受け、支援を行っている。また、次年度に向けて高大連携協議会にて高大連携プログラム、探究活動支援に関する意見交換を行った。3 月には次年度の探究活動に関する支援の調査を行い、薬学部による支援要望がある。 ・3 月には連携校・重点校訪問を行い、薬学教育センターの案内冊子の説明や春のオープンキャンパスの告知、2024 年度入試結果(速報)説明、2025 年度入学者選考要領(入試速報版)の説明を行い、次年度入試への取り組みを開始した。 2. ・アドミッションセンター・神戸キャンパス入試センターにおいて 2025 年度入試に向けた新たな入試制度の骨子を策定し、9 月の薬学部教授会での意見聴取後に神戸キャンパス入試検討委員会、神戸キャンパス協議会、大学運営会議にて審議し、決定した。 ・2025 年度の新入試制度は、高等学校で実施している探究活動を評価する総合型選抜高大接続枠の導入、関西学院高等部を対象とした学校推薦型選抜特別選抜の導入、一般選抜後期日程の試験科目変更となる。また、入学後の教育状況や他大学の状況を踏まえ、総合型選抜の出願資格に「化学基礎」「化学」の履修を必修化し、一般選抜の数学の出題範囲に数学Ⅱを加えた。 3. ・学生カルテなどの活用によって、教員間で学生に関する情報を共有する基盤整備を行っている。 ・課題を抱える 1・2 年生には、薬学教育センターの事務職員 2 名を中心に面談等でサポートを行っている。 ・1～4 年生対象に、9 月に薬学教育センター主催の学修ガイダンスを実施した。 ・1 年生対象に、薬学部教員や 5 年生の学生チューターと連携しながら個別質問対応形式の補習を 10 月から 12 月にかけて計 10 コマ実施した。

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
		・2年生対象に、薬学部教員と連携し、10月に少人数制補講を実施した。また薬剤師国家試験対策予備校による補講を9月から11月にかけて計12コマ実施した。 ・3年生対象に、薬剤師国家試験対策予備校による補講を12月に計12コマ実施した。 ・4年生対象に、薬剤師国家試験対策予備校による映像授業での補講を実務実習事前学習の裏コマとして9月から11月にかけて計18コマ実施した。また薬学教育センター主導で演習問題補講を7回実施し、11月には希望者のみの少人数制の補講も実施した。 ・4～6年生対象に自習室(講義室)を確保し、9時から21時まで開放した。 ・1年生対象に、薬学部教職員と共同でアドバイザー制度を強化した。 ・薬学教育センターにて延べ約165名に教育面談を実施した。 4. ・6年生は、4・7月の模試受験に続き、9月からは毎月模試を受験し、国家試験まで模試結果を基に国家試験対策委員や薬学ゼミナール講師との面談を交えながら、各自弱点の克服に向けて取り組んでいる。また、エクステンションクラスを設け、国試過去問題を重点的に解く対策を立てて実践している。 ・5年生は、11月に国試対策テストを実施した。
2	【事業名】 新病院棟完成に向けた建設計画の着実な実行 【事業の概要】 1. 建設工事中における工事進捗状況の確認、コスト管理および問題点発生時の対応 2. 総合図をもとに関係部署とのヒアリング 3. 新病院棟での各部署業務運用体制の構築 4. 既存建物の改修に向けたゾーニング計画について	1. ・5月より新病院棟の工事が着工され、3月末時点で日程経過率は35.1%、工事出来高率は7.0%である。工事進捗に遅延が生じているが、工事期間での挽回方法を施工者・設計者と検討中。 ・6月より開催している新病院棟総合定例会議は第10回を終了し、①工事進捗状況確認、②設計会社による現場管理、③大学、病院部門の行事と工事工程の調整等について情報共有を行っている。また、新病院棟週間定例会議についても第20回を終了し、①安全衛生管理状況の確認、②近隣対応状況、③総合図工程表の確認、④契約時VECDの確認等について情報共有を行った。④のVECDについて、契約時保留となっていた39項目に対して、16項目を採用し19項目を否決した。残り4項目については次年度の採否検討を進めていく。また、工事着工後も新規の提案が出され、内容を検証した後、採用に至っている。今後も引き続き工事内容変更による工事費の変動をモニタリングしながら、減額案検討による追加工事費の抑制および施工者の資材等発注状況を確認し、請負契約時の物価上昇額の妥当性を監視していく。 2. ・2024年3月より総合図ヒアリングを開始。1～7階エリアを2024年9月上旬、8階～15階を2025年1月上旬の決定に向け、75の部署と約1年かけてヒアリングを実施予定。 ・新病院棟什器については2024年2月より1、1-附、2、8、10号館、急性医療総合センター各建物の新病院棟に関係する約110箇所の現有品調査を3月末までに完了。調査結果をもとに2024年6月を目途に什器ヒアリングを実施予定。 3. ・外来WG・・・12月開催。内科および外科ブロック受付、診察室、処置室について室数およびレイアウトについて確定。その他、各科外来待合や患者さんの導線、診察室内の運用等、個々のエリアについても都度、関係部署と運用体制について検討している。 ・病棟WG・・・10月に開催された病棟構成(案)については12月末で決定。病床数についても801床(急性医療総合センター除く)で決定。また、基準病棟に関する打合せについてはこれまでに看護部を中心に17回開催。今後も引き続き関係者との間でヒアリングを実施。

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
		・情報 WG・・・1 月に第 7 回情報 WG を開催。①新病院情報システム選定について。 ・患者サービス WG・・・10 月開催。①7 階職員食について。②1 階医大モールについて。 4. ・11 月より毎月「10 号館改修計画 WG」を開催。(2023 年度:計 5 回開催)①配置予定の臨床系講座等の配分面積の考え方②各階のゾーニング計画について③教育関係施設について④実験室について議論。2024 年 6 月を目途に基本構想・基本計画(ゾーニング決定)を行う。
3	【事業名】 新規患者増加に向けた入院支援・運用の最適化と地域医療機関との連携強化 【事業の概要】 1. 新規患者獲得に向けた分析と院内の方針決定 2. 新規患者獲得に向けた院内の基盤整備 3. 近隣医療機関との連携強化 4. 合理的かつ効果的な PFM の実現	1. ・新患患者の入院率などのデータをもとに、病院長ヒアリング実施にあわせて新患獲得に向けたイメージ図を作成した。 ・2022 年度の外来収入分析を行い、診療単価の分布を明らかにするなどの取り組みを行った。今後、逆紹介の促進などの対策を行う必要性について、幹部会や病院長ヒアリングでも報告している。 ・登録医制度の見直しについては、見直しに係るデータが必要との判断から、データ分析やデータ収集を中心とした取り組みとなった。登録医別紹介件数など基礎データを収集・分析した内部データや地域医療懇談会の参加依頼にあわせて実施した「兵庫医科大学病院 地域連携に係るアンケート」、東灘区学術集談会に参加した際に入手した外部からのアンケートなどのデータを収集した。これらは医療支援センター運営委員会や病院幹部会、病院部長会等を通じて報告を行っている。 2. ・オンライン予約導入に向け、病院幹部会及び病院部長会にてオンライン予約システムの概要説明を行った。また、各診療科にオンライン予約実施に係るアンケートを実施し、オンライン予約への参入を検討するとの回答があった各診療科の医師とオンライン予約に関する個別ヒアリングを実施した。オンライン予約実施にあたっては、各診療科の予約の状況を加味しオンライン予約に対応可能な診療科から順次実施していく方向で調整を進めている。オンライン予約については、2024 年 5 月より稼働することとして調整を進めている。 ・返書については医師に電子カルテによる返書作成方法を周知することで、返書状況の改善が見込めることから、使用方法のマニュアルを作成・周知していく予定である。第 1 弾として基本的な返書手順について病院部長会・医局長会で周知を行った。返書指標については病院部長会にて定期的に提示し、返書の作成を促している。返書率・返書回数ともに昨年度に比して増加している。 ・病院長ヒアリングなどを通じて各診療科に対し地域医療機関への訪問を促進するとともに、各診療科が具体的に行動しやすいよう紹介比率の高い医療機関一覧などのデータを提示した。また併せて医療支援センターによる訪問サポート制度の活用を促した。訪問件数については昨年度比で増加している。 3. ・サタデーモーニングセミナーでは、2022 年度に引き続き年 12 回の開催を実施した。医療安全や感染症など、参加者のニーズが高いテーマを選定することで参加者増加をめざした。上半期は梅田クリニックでの実施や、座長と講演者が対談形式で行うような撮影方法などの取り組み工夫を行った。参加者は申込者・参加者ともに増加傾向にある。 ・10/21 には、地域の医療機関を招いて地域医療懇談会を実施した。 ・地域医療懇談会の参加依頼にあわせて実施した「兵庫医科大学病院 地域連携に係るアンケート」については、当日「医療支援センターの取り組み」にて回答結果を来場者にフィードバックするとともに、医療支援センター運営委員会、病院幹部

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
		会、病院部長会にて集計結果の報告を行った。本アンケートは継続し一部のアンケート項目については、次年度以降の経年比較のために使用していく予定である。 ・近隣医療機関への情報提供の強化およびオンライン予約導入にかかる導線確保を目的として、現在登録医向けのホームページの作成を進めている。 ・地図情報による医療機関検索システムの導入に向けて検討を行った。機能を活用できるよう、運用方法やデータ蓄積方法などを課内で調整を行っており、現在テスト運用中である。 4. ・病床管理システムについて、数社の説明を受けた。中央管理担当師長および事務担当者で意見交換を行った。 ・近隣の医科大学に行き、中央管理業務等の実施内容や実施方法や組織体制などを確認した。また、医療支援センター内で中央管理業務に関する意見交換を行った。 ・時間外外来の院内 PFM について、運用の再検討を行った。
4	【事業名】 ささやま医療センターの経営改善 【事業の概要】 1. ささやま医療センターの適正な運営方策(経営形態)の策定 2. 収支の向上 3. 感染症発生状況における即応病床確保計画の策定並びに休止病床の活用 4. キャンパス間の連携体制強化(西宮・篠山) 5. 健診事業の運営強化・健診者数の増加	1. ・7 月に本法人、丹波篠山市、兵庫県による第 1 回目の話し合いを行い、8 月に第 2 回目、10 月に第 3 回目、12 月に第 4 回目を開催し、内科、総合診療科、整形外科、リハビリテーション科を基本診療科としたことを含め、小児科や非常勤医師担当科による収支シミュレーション等に基づき協議を行った。 2. ・外来患者数は、前年度比から増加した。 ・総合診療科・内科の入院取扱い患者数が減少しており、入院患者の増加に向けて継続的な渉外活動等が必要である。 ・手術件数は、前年度から増加した。 3. ・新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行後も、地域の中核病院であることを踏まえ、4 階病棟の 3 床(個室)を新たにコロナ患者受入れ用として運用することとし、コロナでの入院がない場合は、一般病床として稼働させる柔軟な対応を取っている。 4. ・ささやま医療センターの電子カルテを西宮にも設置し、西宮に所属する医師にオンラインで診療相談等を行う体制を構築している。新たに当院で撮影したレントゲン等の画像を高精細で読影するための端末の設置を要望しており、これにより遠隔画像読影環境を整備し更なる連携体制強化を進める。また、12 月に開催したささやま医療センター経営協議会においても、西宮の各診療科主任教授とも情報を共有しキャンパス間の連携を深めた。 5. ・新規に企業健診を実施した企業は 47 件であった。 ・健診者数(特定健診・協会けんぽ健診)において、前年度を上回る結果となった。金額ベースでも増収となった。

2. 法 人

○ 新病院棟建設工事の着工

2026 年の新病院棟開院に向け、2023 年 5 月 15 日より新病院棟建設工事が着工した。工事期間中はコストの抑制に務めながら平面詳細図ヒアリングを外来・病棟で約 70 回、その他関係部署と約 50 回開催し、次年度以降実施される総合図ヒアリング作成に向け詳細内容の決定を行った。

また、什器・家具等については院内の現有品調査を行い、次年度以降実施される什器ヒアリングに向け調査資料の作成を行った。

2023 年 11 月より「10 号館改修計画 WG」を立上げ、2023 年度は 5 回開催(毎月)。①配置予定の臨床系講座、その他諸室等の配分面積の考え方、②各階のゾーニング計画について、③教育関連施設について、④実験室について検討。次年度にゾーニングを確定し、基本設計へと進めていく。

○ 「兵庫医科大学×READYFOR」クラウドファンディングプロジェクト開始

国内最大級のクラウドファンディングサービス「READYFOR」を運営する READYFOR 株式会社(本社:東京都千代田区、代表:米良はるか)と業務提携を締結し、クラウドファンディングプロジェクトを公開した。大学を取り巻く環境が日々変わっていく中、更なる教育・研究の活性化のために、国からの運営交付金や競争的資金に加えて、様々な形で支援獲得が重要になっている。その有力な手段としてクラウドファンディングを活用することで、各研究室の活動や大学の設備投資などに対する寄付金等を獲得する機会の拡大を目指す。

○ 内部監査室

1. 業務・会計監査の実施

- ① 私立大学等経常費補助金の申請、算定【2022 年度繰越分】
- ② 定例監査 公的研究費(2022 年度執行分)
- ③ 定例監査 特定機能病院の管理者(病院長)に係る業務の執行状況
- ④ 診療録の管理(篠山キャンパス)
- ⑤ 産業廃棄物の管理(神戸キャンパス)
- ⑥ 安全保障輸出管理
- ⑦ 学生の安全衛生管理体制(西宮キャンパス)
- ⑧ 動物実験の実施(西宮キャンパス)

2. 公益通報の申立窓口事務

申立なし

3. 監査の情報交換

日本内部監査協会、大学監査協会及びその他外部セミナーへの参加

4. 監事、監査法人との連携・情報の共有

- ① 三様監査連絡会参加(監事および監査法人と情報交換の開催)3 回(5 月、9 月、3 月)
- ② 監事会オブザーバー参加 6 回(奇数月)
- ③ 決算監事会参加(5 月)
- ④ 監査法人の監査計画説明会参加(9 月)

○ 保育事業利用実績

		利用者数	対前年度
病児保育室		延 63 名 (登録者数 265 名)	92.2% (118.3%)
保育園ポパラー			
	本学専用枠(月極)	平均 37 名	148.0%
	夜間保育	延 343 名	120.8%
	祝日開院日(全 3 日)	延 43 名	

○ ダイバーシティ推進事業

1. ダイバーシティプロジェクト教員制度の開始

教育、研究、診療の 3 領域のいずれかで特筆すべき業績があり、昇任するにふさわしい人格、見識を備えた医学部の女性教員に対して、一定期間、研究費の支給や研究支援員配置等のサポートを行い、期間終了後に審査を実施し、基準を満たす者を上位職として登用する「ダイバーシティプロジェクト教員制度」を開始した。

2023 年度は、12 名の応募者の中から准教授 1 名と講師 3 名を選出し、7 月 1 日に採択証書授与式を行った。

2. クラウドファンディングの実施

育児や介護をはじめとしたライフイベント中の医師や研究者が研究に従事できる環境を整えるため、「研究支援員配置制度」の制度拡大を目的としたクラウドファンディングプロジェクト『出産・育児でキャリアを諦めない！研究支援で「明るい未来」を応援』を 2023 年 10 月 2 日～11 月 30 日の期間で実施し、6,385,000 円のご寄付をいただいた。ご寄付を原資として支援員を雇用するのに加え、これまでデータ入力や整理などの事務作業補助に限られていた支援員の業務内容を、実験や研究の実務補助へと拡大し研究者への支援の幅を広げた。

○ 兵庫医科大学保健管理センター

2023 年度の主な事業報告は次のとおり。

1. 健康診断関係

○西宮、神戸、梅田キャンパス職員健診を全て近畿健康管理センターに委託して実施し、健診結果の管理、受診勧奨等を行った。

神戸キャンパスは、※印の健康診断を今年度から開始した。

各健康診断の実施延人数は次のとおり。

健康診断種類	西宮	神戸	梅田
定期健康診断	3,025	181	42
特定業務従事者健康診断	761	※4	0
電離放射線特殊健康診断	1,110	25	9
有機溶剤特殊健康診断	114	※38	0
特定化学物質特殊健康診断	43	※28	0

2. 安全衛生管理

神戸キャンパス衛生委員会の毎月開催を開始した。

神戸キャンパスにおいて週 1 回の職場巡視を開始した。

西宮及び神戸キャンパスの職場巡視において、環境安全委員の同行を開始し化学物質管理を強化した。

3. 感染対策関係

○新型コロナウイルス感染症関連の対応

6 月に職員の新型コロナワクチン集団接種を実施した。

5 類移行後、職員の発熱外来受診調整は 5 月 12 日で終了し、職員の新型コロナ感染症陽性者の把握、接触者調査及び判定、濃厚接触者の就業前検査の調整を実施し、毎日の発生状況報告は継続した。

○WHS(健康管理システム)

篠山キャンパス師長についても 4 種ワクチン接種歴及び抗体価の情報を閲覧可能とした。

4. 医師の長時間勤務対策

2024 年 4 月から医師の働き方改革が開始されることに伴い、「兵庫医科大学病院 医師の面接指導等に関する規程」を制定し、面接指導実施医師を各診療科から選出し面談指導を実施する体制を整えた。

5. ストレスチェックの実施

事業主に義務付けられている、心理的な負担の程度を把握するための検査「ストレスチェック」を厚生労働省が公表した指針に基づき、外部機関(ティーベック株式会社)に委託して Web 方式で 11 月に実施した。

キャンパス全ての常勤職員を対象に実施し、結果は以下のとおりであった。

区分	実施率	高ストレス者率	報告会
全体	88.6%	18.9%	2024 年 1 月 理事長に報告
西宮	88.0%	19.7%	2024 年 2 月 安全衛生委員会に報告
神戸	90.9%	16.9%	2024 年 2 月 神戸キャンパス協議会に報告 2024 年 3 月 衛生委員会に報告
篠山	92.1%	13.2%	2024 年 3 月 衛生委員会に報告

6. セミナー及び研修会等の実施

日 時 場 所	セミナー等	参加 人数
7 月 14 日(金) 西宮キャンパス 第 2 会議室	新たな化学物質規制に関する説明会 講師:南方 英則 氏	当日:16 名 E+Learning:139 名
7 月 18 日(火) 神戸キャンパス M107 講義室	新たな化学物質規制に関する説明会 講師:南方 英則 氏	当日:24 名 E+Learning:33 名
12 月 1 日 ～2 月 13 日	e-ラーニングハラスメント研修 パナソニックソリューションテクノロジー 株式会社 ※非常勤医師、アルバイト含む	西宮 2,696 名 神戸 174 名 篠山 319 名 梅田 38 名
12 月 15 日(金)	Let's★姿勢改善&美ボディメイク 講師:久保 梓氏	20 名

○ 情報センター

1. 情報センター運営協議会

今年度は10月の定例の他4回開催し、主に次年度の新規システム導入や既設システム更新等の各部署要望を取り纏め、必要性や費用対効果等を踏まえ予算化の可否を協議、また情報センターの次年度予算案の協議を行った。

2. 2023年度事業計画の完遂

(1) 情報セキュリティ対策強化

病院情報システムのランサムウェア対策として、西宮・篠山・梅田キャンパスにEDR、バックアップ方式の導入を行った。また、標的型メール攻撃訓練の実施と、情報セキュリティ研修を開催した。

(2) 病院系・法人系システム更新計画策定

病院系:新病院に向けた電子カルテ及び部門システムの更新計画を策定

法人系:人事システムのベンダー選定および更新計画を策定

3. 2023年度の新規システム導入及び既設システム更新

(1) 西宮キャンパス

- ① 病院系(自動精算機・POSレジ、医療費あと払い、会計番号案内、再来受付機、輸血部門、スライド画像データアーカイブ、放射線被ばく管理、超音波部門NAS、EDR、バックアップ、施設基準管理、オンライン診療予約、集中治療遠隔支援)
- ② 法人系(健康管理)
- ③ ネットワーク系(フロアスイッチ、無線LAN機器)

(2) 神戸キャンパス

- ① ネットワーク系(フロアスイッチ、電源増設)

(3) 篠山キャンパス

- ① 病院系(放射線画像遠隔読影)
- ② ネットワーク系(フロアスイッチ、無線LAN機器)

4. 業務支援

BPR・RPA推進

事務局BPR活動において、グループウェア上でのワークフロー・業務アプリ作成、Google Apps Scriptを使用した定型メール送信の自動化、RPAを利用した業務の効率化など、各部署の業務改善支援を行った。

5. その他

- ① 情報セキュリティポリシーの策定(対策基本方針、対策基本規程)
- ② 情報セキュリティ委員会の開催
- ③ 紙申請書のワークフロー対応(入構許可証申請、兼業許可申請、室料差額免除申請)

○ 物流課

1. 医療材料・消耗品の価格低減推進

資源価格の高騰と円安による原材料価格の上昇が物品価格に転嫁される状況が続いている中、SPD と連携してコスト改善に向けた対応を継続した結果、医療材料・消耗品の価格低減に係る期間目標を達成した。また、随時ベンチマーク等の情報を利用して価格削減交渉や商品の切り替えを行った。

2. 医薬品における後発品への切り替えと薬価交渉の取り組み強化

国の薬価引き下げ基調が続き医薬品購入コストが嵩んでいる状況下、薬剤部と連携した後発医薬品への切り替え策定や、取引状況の分析に基づいた購入価格交渉の強化を進めた。年間薬価差益額も前年度を上回る水準を確保し、法人財務への影響を食い止めるべく状況の改善に取り組んだ。

○ 施設課

1. 西宮キャンパス

(1) 土地・建物の状況 21 ページ参照

(2) 建物・設備等の主な改修及び更新

- ① 急性医療総合センター 手術室系統電話システム更新工事
- ② 急性医療総合センター 手術室系統空調機器部品更新工事
- ③ 急性医療総合センター 医療ガス設備機器更新工事
- ④ 資料棟 1 階閲覧室移転工事
- ⑤ PET センター サイクロトロシステム用電源ユニット等更新工事
- ⑥ PET センター 電話システム更新工事
- ⑦ 平成記念会館 ガスヒートポンプエアコン更新工事
- ⑧ 東鳴尾テニスコート 人工芝改修工事
- ⑨ 東鳴尾テニスコート LED 照明化工事
- ⑩ 鳴尾浜グラウンド 屋外気中開閉器更新工事

2. 篠山キャンパス

(1) 土地・建物の状況 22 ページ参照

(2) 建物・設備等の主な改修及び更新

- ① モバイル電話導入工事
- ② ささやま医療センター、看護宿舎、老人保健施設 昇降機部品取替工事
- ③ ささやま医療センター 食品庫プレハブ冷蔵ユニット部品更新工事
- ④ ささやま医療センター 厨房給湯器更新工事
- ⑤ 落雷被害に伴う電気設備機器復旧工事

3. 神戸キャンパス

(1) 土地・建物の状況 22 ページ参照

(2) 建物・設備等の主な改修及び更新

- ① G 棟 病態モデル研究センター空調機器更新工事
- ② 落雷被害に伴う電気・空調設備機器復旧工事

4. 梅田キャンパス

(1) 土地・建物の状況 23 ページ参照

(2) 建物・設備等の主な改修及び更新

- ① 梅田クリニック ネットワークカメラ取付工事

土地・建物の状況

○ 西宮キャンパス

建物区分	規 模 ・ 構 造	延 床 面 積 登記 (㎡)	使 用 区 分	所在地 及び 敷地面積 (㎡)
1 号 館 (校舎・病院)	SRC・S造 地下 1階 地上 13階 塔屋 2階	43,134.11	病院、臨床系研究室	武 庫 川 町 20,574.02
1号館附属棟 (事務所、食堂)	S造 4階	1,602.48	病院管理部門、食堂、売店	
2 号 館 (校舎・病院)	RC造 塔屋 6階 1階	5,563.50	病院、臨床系研究室、学生自習室	
教育研究棟 (校舎・講堂)	S造 塔屋 12階 1階	30,827.24	講義室、学生実習室、管理部門	
新立体駐車場 (車庫)	S造 6階	14,071.07	立体駐車場、車庫	
デッキ棟 (店舗・倉庫)	S造 3階	642.71	店舗、倉庫	
廃液・廃棄物倉庫棟	W造 2階	246.24	清掃事務所、倉庫	
小 計 (西側敷地)		96,087.35		20,574.02
8 号 館 (校舎・病院)	SRC・S造 地下 1階 地上 8階 塔屋 1階	12,694.74	病院、臨床系研究室	武 庫 川 町 20,346.32
10 号 館 (病院)	SRC造 地下 1階 地上 10階 塔屋 1階	18,744.41	病院、管理部門	
急性医療総合センター (病院)	RC造 7階	15,239.17	病院	
資 料 室 (資料室)	S造 塔屋 2階 1階	2,717.76	病院、病歴資料室	
マニホールド室 (配管室)	S造 1階	15.37	マニホールド室	
小 計 (東側敷地)		49,411.45		20,346.32
平成記念会館 (講堂・体育館)	SRC造 地下 1階 地上 3階	5,642.92	体育館、部室、クラブハウス、講堂	小 松 南 町 6,869.00
アーチェリー練習場他		-	アーチェリー練習場、ゴルフ練習場	小 松 南 町 3,575.05
大学会館等 (学生会館)	S造 2階	531.57	食堂	池 開 町 452.89
留学生宿舍	W造 2階	89.01	宿舍	池 開 町 78.08
PETセンター (病院)	RC造 4階	1,856.80	病院	池 開 町 1,048.34
総合グラウンド		-	野球場・陸上競技場他	鳴 尾 浜 33,064.00
クラブハウス等 (クラブハウス)	S造 1階	498.85	クラブハウス、倉庫等	
救護室	S造	70.07	救護室	
東鳴尾テニスコート		-	人工芝テニスコート3面	東 鳴 尾 町 2,706.70
東鳴尾テニスコート更衣棟	CB造	47.55	更衣室	
旧健康医学クリニック	RC造 3階	1,488.88	事務所	池 開 町 516.04
総合研修棟跡地		-	総合研修棟跡地	武 庫 川 町 829.77(借地)
小 計		10,225.65		48,310.10
合 計		155,724.45		89,230.44

土地・建物の状況

○ 篠山キャンパス

建物区分	規 模 ・ 構 造	延 床 面 積 登記 (㎡)	使 用 区 分	所在地 及び 敷地面積 (㎡)
ささやま医療センター (病院)	RC造 4階	11,634.22	病院	丹波篠山市 郡家字八ノ坪 黒岡字よし池ノ坪 黒岡字葭池ノ坪 敷地面積 (㎡) 17,037.70 丹波篠山市 山内町 黒岡字土井西池ノ坪 黒岡字西池ノ坪 借地面積 (㎡) 19,825.14 (丹波篠山市より無料貸与)
倉庫 (倉庫)	CB造 平屋建	52.50	倉庫	
病院	S造 地下1階 平屋建	1,089.33	病院	
看護師宿舍棟 (寄宿舍)	RC造 5階	1,214.71	宿舍(36戸)、ポンプ室、	
研修医棟 (寄宿舍)	RC造 4階	695.08	宿舍(15戸)、管理室、図書室、 討議室、講義室	
リハビリテーションセンター (リハビリテーションセンター)	RC造 平屋建 1部 S造	1,650.13	理学療法室、作業療法室、 動作評価室、診療室、他	
老人保健施設 (老人保健施設)	RC造 4階 塔屋	4,361.29	事務室、食堂、浴室、他 療養室(48室)計100人	
篠山キャンパス 看護師宿舍 (共同住宅)	RC造 3階	869.65	宿舍(28戸)	
ささやまみらい (寄宿舍)	木造 2階	680.29	学生宿舍	
合 計		22,247.20		36,862.84

○ 神戸キャンパス

建物区分	規 模 ・ 構 造	延 床 面 積 登記 (㎡)	使 用 区 分	所在地 及び 敷地面積 (㎡)
P 棟 (校舎)	SRC造 3階	8,753.86	管理部門、講堂、図書館、食堂、 売店、グループ学習室、保健室	神戸市中央区港島 49,138.00
M 棟 (校舎)	SRC造 4階	17,025.71	講義室、学生実習室、教員研究室、 カンファレンス室	
G 棟 (校舎)	SRC造 4階	9,296.26	研究室、動物実験室、RI実験室、 共同医学研究室、リハビリテーションラボ、 教員研究室、カンファレンス室、 学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院研究室	
G棟アリーナ (体育館)	RC造 2階	2,792.26	アリーナ、部室、多目的室	
倉庫 (倉庫)	RC造 平屋建	125.06	倉庫	
守衛室 (守衛所)	RC造 平屋建	4.20	警備員詰所	
合 計		37,997.35		49,138.00

土地・建物の状況

○ 梅田キャンパス

建物区分	規 模 ・ 構 造	延 床 面 積 登 記 (㎡)	使 用 区 分	所在地
梅田健康医学クリニック	S造・一部SRC・RC構造 地下3階地上38階塔屋2階 13階部分	1,143.11	クリニック	大阪市北区梅田 大阪梅田ツイン タワーズ・サウス13階 (賃貸)
合 計		1,143.11		

3.大 学

○ 補助金等

1. 2023 年度 私立大学等経常費補助金

(単位:千円)

	一般補助	特別補助	合計	(参考)	
				2022 年度	2021 年度
兵庫医科大学	1,551,096	84,262	1,635,358	2,036,817	1,274,608
兵庫医療大学※					399,588
合計	1,551,096	84,262	1,635,358	2,036,817	1,608,675

※ 2022 年 4 月に兵庫医科大学に統合。

2. 2023 年度 私立大学等改革総合支援事業

私立大学等改革総合支援事業については「タイプ 3:地域社会の発展への貢献(地域連携型)」が選定された。選定結果は下記のとおりである。

	得点
タイプ 3:地域社会の発展への貢献(地域連携型)	41 点／満点 60 点 ※選定基準 38 点以上

3.1.西宮キャンパス

○ 臨床教育の充実

医学部において、臨床教育の強化を図り、門田レポートを基に「臨床実習期間中に学生が Student Doctor として指定の医行為を実施する診療科」を設定し、2023 年度第 4 学年次臨床実習から適用した。また、CC-EPOC を臨床実習に導入し、卒前・卒後のシームレスな教育を遂行していくための環境を整備した。

さらに、医系総合大学として実践的な多職種連携教育(IPE)の更なる充実を図るため、医、薬、看護、リハビリテーションの 4 学部合同による臨床実習の一部として導入された「多職種連携総合臨床実習」について、ささやま医療センターにおける実習を前年度(初年度)の 1 週から 3 週に増加させ実施した。

教員には多職種連携教育への理解を促進するため、IP コンピテンシー、ならびに Competency-based IPE プログラムの開発・実践・評価について学びを深めることを目的として、2023 年 8 月に学外より講師を招聘し、「多職種連携教育におけるコンピテンシー」をテーマとした全学教員 FD を実施した。

○ 新型コロナウイルス感染症対応

新型コロナウイルス感染症の 5 類への移行に基づいた本法人の制限緩和の動向を踏まえて、学生の行動指針について、一部の実習・演習や病院関係実習(学外実習を含む)については引き続きマスク着用を義務付けるが、学修環境やクラブ活動等への対応については段階的に感染対策を緩和した。また、各種行事についても緩和の方向で体制を見直したうえ実施した。

○ 医師国家試験

1. 本学の状況

区分		新卒			既卒			計		
本年度		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
		111	110	99.1%	3	3	100%	114	113	99.1%
(参考)	2022 年度	111	109	98.2%	4	3	75.0%	115	112	97.4%
	2021 年度	108	104	96.3%	7	7	100%	115	111	96.5%

2. 全国の状況(合格率)

新卒・既卒別 私立・全国別	新 卒	既 卒	計
私 立 平 均	96.2%	68.4%	94.1%
全 国 平 均	95.4%	58.9%	92.4%

○ 2023 年度 医学部進級(卒業)認定数等

学年次	学生数	進級(卒業)	留 年	退 学	除 籍
1	127	113	13	1	0
2	118	106	12	0	0
3	122	111	11	0	0
4	107	103	4	0	0
5	110	103	6	1	0
6	119	111	8	0	0
計	703	647	54	2	0

※第 1 学年次退学者数は年度途中退学者を含む。

(参考)年度別 留年・退学等状況 (2017～2023 年度)

年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
学生数	709	708	704	699	705	705	703
留年	47	42	41	50	54	60	54
退学	6	2	6	5	4	3	2
除籍	0	0	0	0	0	0	0
進級(卒業)率	92.5%	93.8%	93.3%	92.1%	91.8%	91.1%	92.0%

○ 医学部学生数 (2024 年 4 月 1 日現在)

1 学年次	2 学年次	3 学年次	4 学年次	5 学年次	6 学年次	合計
125	125	117	115	109	111	702

○ 2024 年度 医学部入学試験

区 分	募集人員	出願者数	第 1 次試験 合格者数	合格者数	入学者数
総合型選抜(卒業生子女枠)	3	34	—	3	3
総合型選抜(一般枠)	5	71	—	6	6
学校推薦型選抜(一般公募制)	15	69	—	14	14
学校推薦型選抜(特別選抜)		3	—	3	3
学校推薦型選抜(地域指定制)	5	20	—	5	5
一般選抜(A4 科目型)	74	2,023	414	189	71
一般選抜(B 高大接続型)	10	339	89	16	10
合 計	112	2,559	503	236	112

○ 2024 年度 大学院医学研究科入学試験

(1) 前期募集

区分	人数	内 訳							
		医 科 学 専 攻					先 端 医 学 専 攻		
		器官・代謝制御系	高次神経制御系	生体応答制御系	生体再生制御系	環境病態制御系	分子病態制御系	疼痛情報制御系	分子再生医学系
出願者	12	3	4	1	1	3	先端医学専攻 募集停止		
受験者	12	3	4	1	1	3			
合格者	9	2	4	0	1	2			
入学者	9	2	4	0	1	2			

(2) 後期募集

区分	人数	内 訳							
		医 科 学 専 攻					先 端 医 学 専 攻		
		器官・代謝制御系	高次神経制御系	生体応答制御系	生体再生制御系	環境病態制御系	分子病態制御系	疼痛情報制御系	分子再生医学系
出願者	29	8	13	4	0	4	先端医学専攻 募集停止		
受験者	29	8	13	4	0	4			
合格者	29	8	13	4	0	4			
入学者	29	8	13	4	0	4			

○ 大学院医学研究科学生数（2024 年 4 月 1 日現在）

分野	1 年	2 年	3 年	4 年	合計
医科学専攻	39	44	42	60	185
先端医学専攻	0	0	0	0	0
合計	39	44	42	60	185

	専 攻	学 年	学 生 数	内 訳	
				昼間履修	夜間履修
医科学専攻	器官・代謝制御系	1	10	1	9
		2	19	1	18
		3	9	1	8
		4	17	5	12
	高次神経制御系	1	17	3	14
		2	12	1	11
		3	19	0	19
		4	27	1	26
	生体応答制御系	1	5	0	5
		2	8	2	6
		3	9	1	8
		4	7	1	6
	生体再生制御系	1	1	0	1
		2	0	0	0
		3	1	0	1
		4	2	0	2
	環境病態制御系	1	6	0	6
		2	5	0	5
		3	4	0	4
		4	7	0	7
先端医学専攻	分子病態制御系	1	0	0	0
		2	0	0	0
		3	0	0	0
		4	0	0	0
	疼痛情報制御系	1	0	0	0
		2	0	0	0
		3	0	0	0
		4	0	0	0
	分子再生医学系	1	0	0	0
		2	0	0	0
		3	0	0	0
		4	0	0	0
			185	17	168

○ 学位の授与

甲 号(43 名)、乙 号(9 名)

学位授与累計 甲 1064 号 乙 446 号

○ 研究費

1. 2023 年度 科学研究費助成事業

(単位:円)

研究種目名		件数			総交付額
			直接経費	間接経費	
基盤研究(B)		14	52,700,000	15,810,000	68,510,000
基盤研究(C)		91	92,150,000	27,555,000	119,705,000
挑戦的研究(萌芽)		4	5,800,000	1,740,000	7,540,000
若手研究		33	33,600,000	10,080,000	43,680,000
研究活動スタート支援		3	3,300,000	990,000	4,290,000
奨励研究		4	1,750,000	0	1,760,000
合 計		149	189,310,000	56,175,000	245,485,000
(参考)	2022 年度	155	197,241,201	58,290,000	255,531,201
	2021 年度	145	193,620,000	57,420,000	251,040,000

2. 2023 年度 厚生労働科学研究費

(単位:円)

研究事業名		件数			総交付額
			直接経費	間接経費	
エイズ対策政策研究事業		1	8,200,000	2,460,000	10,660,000
(参考)	2022 年度	1	7,161,000	2,148,000	9,309,000
	2021 年度	1	10,926,000	3,277,000	14,203,000

3. 2023 年度 日本医療研究開発機構(AMED)研究費

(単位:円)

研究事業名		件数	経費		総交付額
			直接経費	間接経費	
創薬支援推進事業 創薬総合支援事業		1	12,363,637	1,236,363	13,600,000
研究公正高度化モデル開発支援事業		1	9,000,000	2,700,000	11,700,000
医療機器等研究成果展開事業		1	45,769,231	13,730,769	59,500,000
橋渡し研究プログラム シーズ preF		1	9,769,231	2,930,769	12,700,000
橋渡し研究プログラム シーズ Cb		1	80,000,000	24,000,000	104,000,000
合 計		5	156,902,099	44,597,901	201,500,000
(参考)	2022 年度	3	30,476,365	6,415,635	36,892,000
	2021 年度	5	82,026,113	19,164,196	101,190,309

○ 補助金等

1. 2023 年度エコチル調査委託事業精算金(環境省)

(単位:円)

環境省委託事業名		件数	経費		総交付額
			直接経費	一般管理費	
エコチル調査		1	87049,886	13,030,221	100,080,107
(参考)	2022 年度合計	1	95,732,998	14,332,687	110,065,685
	2021 年度合計	1	103,980,345	15,597,050	119,577,395

2. 2023 年度多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン 補助金分配金(文部科学省)

(単位:円)

研究事業名		件数	経費		本学分配額
			各部署配分額	事務経費	
次世代のがんプロフェッショナル養成プラン		1	5,288,906	2,560,094	7,849,000
(参考)	2022 年度合計	1	(※)	(※)	(※)
	2021 年度合計	1	2,920,000	1,440,000	4,360,000

(※) 2022 年度は文部科学省が予算確保できなかったため、補助金分配金は無し。

3.2. 神戸キャンパス

○ 一般社団法人 薬学教育評価機構による認証評価

兵庫医科大学薬学部医療薬学科(6年制薬学教育プログラム)は、一般社団法人 薬学教育評価機構の認証評価を受け、2023年10月12日(木)、13日(金)の2日間、実地調査が行われ、2024年3月に同機構が定める「薬学教育評価 評価基準」に適合していると認定された。認定期間は2031年3月31日までの7年間である。

○ 看護学研究科、リハビリテーション科学研究科の博士後期課程設置申請

看護学研究科及びリハビリテーション科学研究科の博士後期課程設置について、2024年3月13日(水)に文部科学省に当該認可申請書の提出を完了した。

○ その他の活動

1. 薬学部重点を置いた学生募集広報の実施

- 薬学部にて特化したWEBコンテンツ制作について、本学薬学部を紹介する動画を制作し、ホームページ、メルマガ、LINE(お友達登録は1,100件を突破した。)、進学相談会により高校生等に薬学部の魅力を発信した。また、(株)昭文社発行の旅行ガイドブック「ことりつぶ」と本学のコラボ冊子を高校訪問前に制作するなど、主に地方在住者に対してキャンパスの所在地神戸の魅力や生活面のメリットを訴求する新たな取り組みにより募集広報を強化した。
- 近畿圏外からの出願促進を企図して、今年度入試から中四国の高等学校に学校推薦型選抜指定校制の枠を設け、6～7月の高校訪問にて、担当の事務局職員がその周知に取り組んだ。また、9月には学校推薦型選抜の出願促進の為に中四国の高等学校に2回目の訪問を行った。
- 9月の連携校・重点校の高校訪問においては、薬学教育センターの協力を得て、薬学教育センターの取り組みに関する資料を高校に提供し、本学の教育支援について説明するとともに、12月には一般選抜、大学入学共通テスト利用入試の出願促進の為に予備校訪問も行った。
- 探究活動支援について、全ての連携校に対象を拡大するなど、大学の取り組みとしての強化を進め、アドミッションセンター-高大接続専門部会を設置し、支援体制を整えた。
- 3月に連携校・重点校訪問を行い、薬学教育センター作成の案内冊子の説明や春のオープンキャンパスの告知、2024年度入試結果(速報)説明、2025年度入学者選考要領(入試速報版)の説明を行い、次年度入試への取り組みを開始した。

○ 国家試験

第109回 薬剤師国家試験

区 分	6 年 制 新 卒			6 年 制 既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	77	65	84.4	106	51	48.1
本学(2022年度)	97	80	82.5	111	44	39.6
本学(2021年度)	101	78	77.2	112	32	28.6
全 国	8,416	7,100	84.4	4,957	2,103	42.4

第 113 回 看護師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	101	99	98.0	1	1	100.0
本学(2022 年度)	102	101	99.0	1	1	100.0
本学(2021 年度)	92	92	100.0	1	0	0.0
全 国	57,860	53,903	93.2	5,441	1,654	30.4

第 110 回 保健師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	28	28	100.0			
本学(2022 年度)	30	30	100.0			
本学(2021 年度)	30	30	100.0			
全 国	7,387	7,218	97.7	408	238	58.3

第 107 回 助産師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	6	6	100.0			
本学(2022 年度)	6	6	100.0			
本学(2021 年度)	7	7	100.0			
全 国	2,063	2,049	99.3	88	76	86.4

第 59 回 理学療法士国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	41	41	100.0			
本学(2022 年度)	44	44	100.0	1	1	100.0
本学(2021 年度)	45	45	100.0			
全 国	11,408	10,858	95.2	1,221	408	33.4

第 59 回 作業療法士国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	44	43	97.7	1	1	100.0
本学(2022 年度)	36	35	97.2	1	1	100.0
本学(2021 年度)	48	47	97.9			
全 国	5,019	4,597	91.6	717	243	33.9

○ 進級認定数（2024年3月31日現在）

学部・学科	学年	学生数	進級 (卒業)	留年	退学	除籍
薬学部 医療薬学科	1	152	114	13	24	1
	2	160	99	29	31	1
	3	108	82	13	10	3
	4	112	97	13	2	0
	5	106	105	0	1	0
	6	160	(109) ^{※1}	51	0	0
看護学部 看護学科	1	125	124	1	0	0
	2	112	109	0	3	0
	3	111	108	2	1	0
	4	102	(101)	1	0	0
リハビリテーション学部 理学療法学科	1	49	46	0	3	0
	2	53	48	1	3	1
	3	48	47	0	1	0
	4	41	(41)	0	0	0
リハビリテーション学部 作業療法学科	1	37	34	2	1	0
	2	42	39	3	0	0
	3	42	41	0	1	0
	4	45	(44)	1	0	0
合 計		1,605	1,093 (295)	130	81	6

※1 秋期卒業者数 32 名を含む。

○ 学部学生数（2024年4月1日現在）

学 部	学 科	第 1 学 年次	第 2 学 年次	第 3 学 年次	第 4 学 年次	第 5 学 年次	第 6 学 年次	合計
薬学部	医療薬学科	135	143	112	95	97	156	738
看護学部	看護学科	105	124	111	109			449
リハビリ テーション 学部	理学療法学科	42	47	48	47			184
	作業療法学科	45	37	39	42			163
合 計		327	351	310	293	97	156	1,534

○ 大学院生数（2024 年 4 月 1 日現在）

薬学 研究科	研究指導科目分野	1 年	2 年	3 年	4 年
	臨床ゲノム薬理・分子薬物動態学	1	0	0	0
	天然薬物学	0	0	0	0
	応用医療薬学	1	0	1	0
	免疫制御学	0	0	0	1
	レドックス生物学	0	0	0	0
	神経病態制御学	0	0	0	0
	医薬品化学	0	0	0	1
	創薬化学	0	0	0	0
	臨床医薬品化学	2	3	3	0
	微生物・寄生体学	0	0	0	0
	微生物制御学	0	0	0	0
	呼吸器疾患病態治療学	0	0	0	1
	合 計	4	3	4	3

看護学 研究科	分野	特定分野	1 年	2 年
	基盤看護学	基礎看護学	1	3
		看護教育学	0	0
		看護開発科学	0	1
	療養支援看護学	急性看護学	2	1
		がん看護学	0	2
		慢性看護学	2	2
		精神看護学	0	0
	家族支援看護学	小児看護学	0	0
		母性看護学	1	0
		助産学	1	0
	生活支援看護学	老年看護学	0	0
		地域看護学	0	0
		在宅看護学	1	2
	合 計		8	11

リハビリテーション 科学研究科	分野	コース	1 年	2 年
	病態運動学	運動器障害	1	2
		内部障害	4	3
		神経障害	2	4
	人間活動科学	身体・認知活動	1	1
		精神活動	1	1
	合 計		9	11

○ 2024 年度各学部入学試験

1. 薬学部

区分		募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合型選抜	一般枠	6	10	10	7	7
	卒業生子女枠	2	0	0	0	0
学校推薦型選抜	指定校制	10	16	16	16	16
	(一般公募制) 専願前期日程	20	16	16	12	12
	(一般公募制) 併願 A 日程	15	63	63	53	20
	(一般公募制) 併願 B 日程	15	64	63	51	16
	(一般公募制) 専願後期日程	3	8	7	1	1
	(一般公募制) 併願 C 日程	8	20	20	13	4
一般選抜	前期日程(3 科目型)	30	83	80	51	16
	前期日程(2 科目型)	20	56	53	36	12
	中期日程	10	35	30	14	8
	後期日程	5	30	30	15	4
大学入学共通 テスト利用入試	前期日程	4	55	53	46	6
	後期日程	2	7	7	5	0
合 計		150	463	448	320	122

2. 看護学部

区分		募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合型選抜	一般枠	10	73	73	13	13
	卒業生子女枠	2	1	1	1	1
学校推薦型選抜	(一般公募制) 専願前期日程	18	81	81	28	28
	(一般公募制) 併願 A 日程	5	117	116	28	6
	(一般公募制) 併願 B 日程	15	257	255	71	18
一般選抜	前期日程(3 科目型)	26	167	164	47	12
	前期日程(2 科目型)	13	187	183	47	14
	後期日程	5	41	41	17	12
大学入学共通 テスト利用入試	前期日程	3	44	44	10	0
	後期日程	3	13	13	5	0
合 計		100	981	971	267	104

3. リハビリテーション学部

(1) 理学療法学科

区分		募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合型選抜	一般枠	4	38	38	5	5
	卒業生子女枠	2	0	0	0	0
学校推薦型選抜	指定校制	2	1	1	1	1
	(一般公募制)専願前期日程	10	55	54	15	15
	(一般公募制)併願 B 日程	4	87	85	12	8
一般選抜	前期日程(3科目型)	9	68	68	13	6
	前期日程(2科目型)	5	83	83	14	3
大学入学共通 テスト利用入試	前期日程	2	43	43	11	2
	後期日程	2	5	5	3	2
合 計		40	380	377	74	42

(2) 作業療法学科

区分		募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合型選抜	一般枠	4	16	16	7	7
	卒業生子女枠	2	0	0	0	0
学校推薦型選抜	指定校制	2	3	3	3	3
	(一般公募制)専願前期日程	10	21	21	18	18
	(一般公募制)併願 B 日程	6	30	29	15	7
一般選抜	前期日程(3科目型)	8	15	15	10	5
	前期日程(2科目型)	4	19	18	11	3
大学入学共通 テスト利用入試	前期日程	2	7	7	2	0
	後期日程	2	1	1	1	0
合 計		40	112	110	67	43

○ 2024 年度 大学院入学試験

区分		募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
薬学研究科	I 期	3	4	4	4	4
	II 期	若干名	0	0	0	0
看護学研究科	I 期	8	5	5	4	4
	II 期	若干名	7	5	4	4
リハビリテーション 科学研究科	I 期	8	9	9	6	6
	II 期	若干名	5	3	3	3

○ 補 助 金

1. 2023 年度科学研究費助成事業獲得実績

(単位:千円)

研究種目名		件数	直接経費	間接経費	交付額
基盤研究(B)		2	4,500	1,350	5,850
基盤研究(C)		33	30,400	9,120	39,520
若手研究		7	5,200	1,560	6,760
研究活動スタート支援		3	2,400	720	3,120
合 計		44	42,500	12,750	55,250
(参考)	2022 年度合計	42	46,600	13,980	60,580
	2021 年度合計	41	34,400	10,320	44,720

○ 2023 年度就職状況

学部		薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
学科		医療薬学科	看護学科	理学療法学科	作業療法学科
卒業生数※1		109	101	41	44
内訳	就職者数	74	97	41	42
	進学者数	0	1	0	0
	その他※2	35	3	0	2

※1 2023 年度秋季卒業生を含む。

※2 国家試験や就職に向けて準備中または不明の者

4. 病院 西宮キャンパス

○ ～新たな治療の開発に貢献～医師主導治験(VIOLA 試験)の結果から悪性中皮腫(胸膜以外)に対してニボルマブが初の承認

2020 年 10 月より胸膜以外の悪性中皮腫を対象に、オブジーボ®(一般名:ニボルマブ)を用いた第Ⅱ相医師主導治験(VIOLA 試験)を開始した。本試験は、兵庫医科大学病院(治験調整医師:呼吸器内科 木島教授)主導の下、全 5 施設が参加した。本試験の結果をもとに、小野薬品工業株式会社はオブジーボ®について胸膜以外の悪性中皮腫に対する効能又は効果の追加に係る製造販売承認事項一部変更申請を行い、2023 年 11 月 24 日、承認を取得した。

今回の承認により、これまで標準治療が未確立であった本適応症に対して、オブジーボ®が新たな治療選択肢として期待される。

○ COVID-19 感染症対応

2023 年 4 月 1 日	EICU 病棟、8-2 病棟については継続してコロナ対応病床で運用。
2023 年 5 月 8 日	「新型インフルエンザ等感染症(いわゆる 2 類相当)」から「5 類感染症」の扱いとなるが、マスク着用については継続。
2023 年 7 月 31 日	陽性患者増加のため 8 西病棟を臨時コロナ病床へ転換。
2023 年 8 月 1 日	8 西病棟コロナ対応病床を拡大。
2023 年 8 月 7 日	10-4 病棟を臨時コロナ病床として扱う。
2023 年 8 月 31 日	10-4 病棟のコロナ対応病床の解除。
2023 年 9 月 7 日	8 西病棟のコロナ対応病床の解除。
2023 年 10 月 1 日	兵庫県からの要請に基づき、感染状況に応じた段階ごとの即応病床数の確保。 (段階Ⅰ:EICU2 床、8-2 病棟 2 床、段階Ⅱ EICU 病棟 8 床、8-2 病棟 7 床)

○ 補助金等

(単位:円)

年度		金 額
2023 年度合計		816,125,866
(参考)	2022 年度合計	3,004,501,884
	2021 年度合計	3,603,962,285

○ 患者数実績

			対前年度
入院患者数	延患者数(在院+退院)	289,618 人	105.4%
	一日平均	728.4 人	105.0%
	平均在院日数(一般)	11.4 日	-0.2 日
	平均在院日数(全体)	11.6 日	-0.2 日
外来患者数	延患者数	626,878 人	98.7%
	一日平均	2321.8 人	98.2%

※2023 年度 43 床減少

5. 篠山キャンパス

○ ささやま医療センターの適正な運営方針(経営形態)の策定

2023 年 7 月に本法人、丹波篠山市、兵庫県による第 1 回目の話し合いを行い、8 月、10 月、12 月と計 4 回開催し継続協議を行った。法人本部が主体となり、総務部を窓口として丹波篠山市との協議を進めているが、具体的な方針策定には至っていない。

○ ささやま医療センターとささやま老人保健施設における一体的な渉外活動および連携強化

外来および入院患者数の増加を目的に今年度は病院長をはじめ医師、看護師、事務職員が協働して丹波圏域の医療機関のみならず、圏域外の医療機関にも積極的に赴き、合計 57 施設と顔の見える連携を図り、情報交換を行った。また、各圏域の医療・福祉体制を鑑み、病院だけでなく併設の老人保健施設でも受け入れ可能なこともアピールし、病院と老人保健施設が一体となって紹介患者獲得の前方支援だけでなく、退院調整等の後方支援でも連携強化を図った。

○ 丹波圏域における発熱等診療・検査医療機関の継続

2023 年 5 月に新型コロナウイルス感染症は 2 類から 5 類へ移行されたが、2020 年度から兵庫県より指定を受けている発熱等診療・検査医療機関としての役割(発熱外来)は、引続き 2023 年度も開設し丹波圏域住民を中心に発熱患者対応を行った(年間発熱外来受診者数 781 名)。

○ 丹波圏域における新型コロナウイルス感染症重点医療機関としての取組

2021 年より重点医療機関の認定を受け、3 階西病棟に即応病床を 19 床配置し入院の必要な新型コロナウイルス陽性患者の受入を行ってきたが、2023 年も兵庫県からの指示を受け、5 類移行後の 9 月末まで即応病床を確保し陽性患者の入院治療を行ってきた。また、10 月以降は 3 階西病棟に確保していた即応病床 19 床を閉鎖し 4 階病棟に 3 床の陽性者受入病室を確保し継続して入院治療を行っている(年間入院総患者数 111 名)。

○ コロナワクチン接種の取組

2021 年 4 月より丹波篠山市及び医師会等からの要請を受け開始したワクチン接種を、2023 年度も引続き院内にワクチン接種会場を設置の上、実施。受付から接種後の経過観察まで職員で対応し、地域の感染対策に取り組んだ(年間ワクチン接種者 2,828 名)。

○ 補助金等

		(単位:円)
年度		金額
2023年度合計		461,362,614
(参考)	2022年度合計	998,505,495
	2021年度合計	1,045,611,356

○ 患者数実績

1. ささやま医療センター

			対前年度
入院患者数	延患者数(在院＋退院)	41,529 人	95.1%
	1 日平均	113.5 人	94.9%
	平均在院日数(一般)	17.8 日	＋1.1 日
	平均在院日数(回復期リハ)	73.2 日	－10.7 日
外来患者数	延患者数	52,314 人	103.6%
	1 日平均	215.3 人	103.6%

※外来患者数には入院中外来患者を含む。

2. 老人保健施設

			対前年度
入所利用者数	延利用者数(長期＋短期)	35,016 人	99.8%
	1 日平均(全体)	95.7 人	99.6%
	平均利用日数(長期)	198.4 日	－23.5 日
	平均利用日数(短期)	6.2 日	－1.3 日
通所利用者数	延利用者数	12,662 人	93.4%
	1 日平均	50.3 人	94.9%

3. 居宅サービスセンター

			対前年度
訪問看護	利用者数	1,432 人	102.8%
	訪問回数	6,735 回	100.5%
訪問介護	利用者数	185 人	125.0%
	訪問回数	1143 回	100.0%
定期巡回	利用者数	146 人	102.1%
	介護訪問回数	6,131 回	105.2%
	看護訪問回数	308 回	123.7%
居宅介護支援	件数	1,968 件	114.0%

6. 梅田キャンパス

○ 内視鏡システムにおける AI(人工知能)機能の追加導入

開設時より、AI(人工知能)を備えた富士フイルムの LED 搭載次世代内視鏡システムと 4K 対応大型モニターを導入し、明るく鮮明で多彩な観察モードを備えた内視鏡システムと AI によるサポートにより、微細な病変も見逃さない、精度の高い検査を提供していたが、検査件数の増加に伴い、内視鏡室(3 室)のフル稼働に向け、全ての内視鏡システムに AI(人工知能)機能を完備した。

○ 大阪梅田ツインタワーズ・サウスで開催されたイベントでの講演

2024 年 1 月 18 日(木)に開催された「ワーカーズ出張版!阪神沿線健康講座」では“腸活のすすめ”として腸活をテーマに、2024 年 3 月 16 日(土)に開催された「第 37 回阪神沿線健康講座」では“消化管のはなし”として食道と胃、腸をテーマに梅田健康医学クリニック所属の医師が講演を行った。

○ 患者数実績

		2022 年度	2023 年度	対前年度	対前年度 (1 年換算)
人間ドック健診者数	延健診者数	2,141 人	4,747 人	221.7%	109.7%
	一日平均	14.9 人	16.3 人	109.5%	
生活習慣病予防健診者数	延健診者数	466 人	1,294 人	277.7%	137.4%
	一日平均	3.2 人	4.4 人	137.5%	
企業健診者数	延健診者数	435 人	2,835 人	651.7%	322.5%
	一日平均	3.0 人	9.7 人	323.3%	
クリニック患者数	延患者数	2,495 人	11,628 人	466.1%	226.4%
	一日平均	18.3 人	41.5 人	226.9%	

※兵庫医科大学梅田健康医学クリニックは、2022 年 10 月 1 日開設

Ⅲ 財務の概要

○2023 年度決算について

1. 概要

2023 年度は、新病院棟建設や持続的な投資を可能とする財務基盤の強化に向けて、基本金組入前当年度収支差額 1,626 百万円を期初予算に計上した。不安定な国際情勢や円安進行による物価高騰、新型コロナウイルス感染症関連の公的支援の減少などのマイナス要因が重なる中、医療収支の大幅改善、業務運営の効率化や経費コントロールの取り組みを一層強化した結果、基本金組入前当年度収支差額は前年度比 42 百万円減の 4,075 百万円と、ほぼ前年度水準を確保する決算となった。

2. 事業活動収支計算書(表 1・2 及びグラフ)

<教育活動収支>

① 教育活動収入

教育活動収入は 62,501 百万円となり、前年度比 319 百万円の減収となった。

教育活動収入の大半を占める西宮本院の医療収入は、外来患者が減少したものの、外来単価の上昇、病床稼働率の上昇が寄与し、前年度比 2,726 百万円増の 44,736 百万円となった。

一方で、大口の現物寄付が終了したことに加えて、経常費補助金が前年度比 401 百万円減少、また感染症対策に係る補助金が前年度比 1,974 百万円減少し、大口のマイナス要因が重なったことから、経常費等補助金は前年度比 2,416 百万円減の 3,458 百万円となった。

② 教育活動支出

教育活動支出は、58,764 百万円となり、前年度比 904 百万円の増加となった。

人件費は、看護職員の減少などにより職員人件費が減少したことに加え、退職給付関連費用が減少したことにより、前年度比 492 百万円減の 23,594 百万円となった。

教育研究経費は、奨学費、旅費交通費などが増加したものの、修繕費などが減少したため、前年度比 160 百万円減の 4,870 百万円となった。

また、医療経費は、診療稼働水準の改善に加えて、薬品費や医療材料費の増加などにより、前年度比 1,696 百万円増の 28,993 百万円となった。

この結果、医療収支差額は 19,479 百万円と、前年度比 1,103 百万円の大幅な改善となった。

<教育活動外収支>

教育活動外収支は、有価証券の積み増しなどにより、受取利息・配当金収入が増加したため、前年度比 61 百万円増の 267 百万円となった。

＜特別収支＞

開学 50 周年記念事業募金に係る施設設備寄付金などが減少したものの、旧立体駐車場等の解体に伴う資産処分差額 1,152 百万円の減少により、特別収支は前年度比 1,117 百万円増加し 95 百万円となった。

3. 資金収支計算書(表 3)

資金収支については、収入(資産売却収入含む)が前年度比 3,639 百万円増加したものの、支出(資産運用支出含む)が前年度比 4,360 百万円増加したため、翌年度繰越支払資金(現金預金)は、2022 年度末 14,284 百万円より 270 百万円減少し、14,014 百万円となった。

4. 貸借対照表(表 4)

2023 年度末の貸借対照表の純資産(資産の部－負債の部)は、大幅な黒字決算を背景に前年度末比 4,075 百万円増の 89,673 百万円となった。

資産の部は、建物・機器等の減価償却が進んだ一方で、新病院棟建設に伴う建設仮勘定や資金の効率的運用による有価証券等の増加によって、前年度比 2,725 百万円増加し 117,672 百万円となった。

負債の部は、リース物件の増加により長期未払金が増加したものの、借入金、未払金などが減少した結果、前年度比 1,351 百万円減少し 27,999 百万円となった。

なお、2023 年度末の総保有資金残高は、前年度比 3,540 百万円増の 41,316 百万円となった。

5. 主要財務比率の推移(表 5)

表 5 にて財務比率の推移を表している。比率の意味、主な留意点等を表の次頁に記載している。

6. キャッシュ・フローの推移(表 6)

「教育研究活動」「施設等整備活動」「財務活動」の活動区分ごとのキャッシュ・フローの推移を表している。それぞれのキャッシュ・フロー計算書は、他の会計基準とほぼ同様の区分等の手法を採用して作成している。

以上

表1

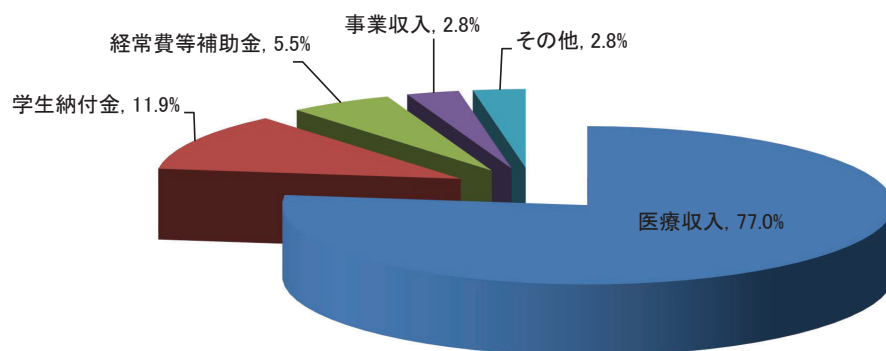
2023年度事業活動収支計算書

(単位:円)

事業活動収入の部			事業活動支出の部		
科目	金額	比率(%)	科目	金額	比率(%)
学生納付金	7,477,896,140	11.9%	人件費	23,593,879,146	40.1%
寄付金	586,502,849	0.9%	教育研究経費	4,869,797,097	8.3%
経常費等補助金	3,458,020,480	5.5%	医療経費	28,992,681,469	49.3%
事業収入	1,753,451,415	2.8%	管理経費	1,277,231,354	2.2%
医療収入	48,472,079,974	77.0%	その他	30,370,440	0.1%
その他	753,531,407	1.2%			
教育活動収入計	62,501,482,265		教育活動支出計	58,763,959,506	
受取利息・配当金等	266,608,833	0.4%	借入金等利息	24,281,350	0.0%
教育活動外収入計	266,608,833		教育活動外支出	24,281,350	
資産売却差額	2,064,109	0.0%	資産処分差額等	49,279,253	0.1%
その他の特別収入	142,687,764	0.2%			
特別収入計	144,751,873		特別支出計	49,279,253	
事業活動収入計	62,912,842,971	100.0%	事業活動支出計	58,837,520,109	100.0%
基本金組入額	△ 3,955,449,305		基本金組入前当年度収支差額	4,075,322,862	
			当年度収支差額	119,873,557	

2023年度決算構成比率

【事業活動収入の部】



【事業活動支出の部】

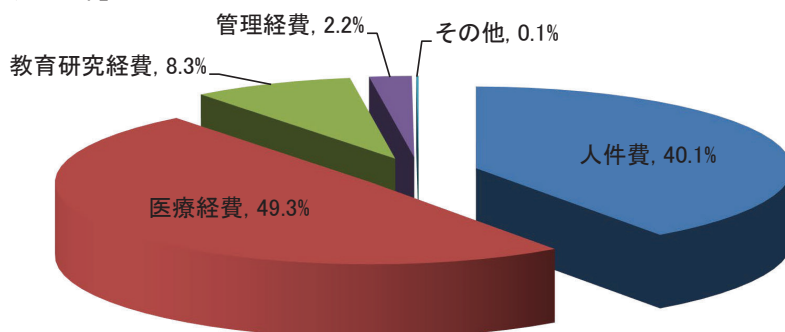


表2

事業活動収支計算書

2023年 4月 1日から
2024年 3月 31日まで

(単位:円)

事業活動収入の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
学 生 納 付 金	7,342,130,000	7,239,034,880	103,095,120	
手 数 料	229,773,000	238,861,260	△ 9,088,260	
寄 付 金	589,395,000	586,502,849	2,892,151	
経 常 費 等 補 助 金	2,308,131,000	3,458,020,480	△ 1,149,889,480	
国庫補助金	2,008,369,000	1,818,696,733	189,672,267	
地方公共団体補助金	299,762,000	1,639,323,747	△ 1,339,561,747	
付 随 事 業 収 入	50,005,994,000	50,225,531,389	△ 219,537,389	
事 業 収 入	1,609,863,000	1,753,451,415	△ 143,588,415	
医 療 収 入	48,396,131,000	48,472,079,974	△ 75,948,974	
雑 収 入	684,669,000	753,531,407	△ 68,862,407	
教 育 活 動 収 入 計	61,160,092,000	62,501,482,265	△ 1,341,390,265	
受 取 利 息 ・ 配 当 金	231,620,000	266,608,833	△ 34,988,833	
そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0	0	0	
教 育 活 動 外 収 入 計	231,620,000	266,608,833	△ 34,988,833	
資 産 売 却 差 額	0	2,064,109	△ 2,064,109	
そ の 他 の 特 別 収 入	60,606,000	142,687,764	△ 82,081,764	
特 別 収 入 計	60,606,000	144,751,873	△ 84,145,873	
事 業 活 動 収 入 の 部 合 計	61,452,318,000	62,912,842,971	△ 1,460,524,971	
事業活動支出の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
人 件 費	23,952,805,000	23,593,879,146	358,925,854	
教 職 員 等 人 件 費	23,136,148,000	22,718,259,885	417,888,115	
退職給与引当金繰入額	736,090,000	798,192,461	△ 62,102,461	
退 職 金	80,567,000	77,426,800	3,140,200	
教 育 研 究 経 費	5,377,458,900	4,869,797,097	507,661,803	
医 療 経 費	28,752,585,730	28,992,681,469	△ 240,095,739	
管 理 経 費	1,536,637,957	1,277,231,354	259,406,603	
徴 収 不 能 額 等	0	30,370,440	△ 30,370,440	
教 育 活 動 支 出 計	59,619,487,587	58,763,959,506	855,528,081	
借 入 金 等 利 息	25,080,000	24,281,350	798,650	
そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	0	0	0	
教 育 活 動 外 支 出 計	25,080,000	24,281,350	798,650	
資 産 処 分 差 額	15,366,000	40,904,642	△ 25,538,642	
そ の 他 の 特 別 支 出	0	8,374,611	△ 8,374,611	
特 別 支 出 計	15,366,000	49,279,253	△ 33,913,253	
[予 備 費]	[33,833,587]			
	166,166,413		166,166,413	
事 業 活 動 支 出 の 部 合 計	59,826,100,000	58,837,520,109	988,579,891	
基本金組入前当年度収支差額	1,626,218,000	4,075,322,862	△ 2,449,104,862	
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 6,863,578,000	△ 3,955,449,305	△ 2,908,128,695	
当 年 度 収 支 差 額	△ 5,237,360,000	119,873,557	△ 5,357,233,557	
前 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 34,887,790,076	△ 34,887,790,076	0	
基 本 金 取 崩 額	0	0	0	
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 40,125,150,076	△ 34,767,916,519	△ 5,357,233,557	

(参考)

事業活動収入計	61,452,318,000	62,912,842,971	△ 1,460,524,971
事業活動支出計	59,826,100,000	58,837,520,109	988,579,891

表3

資金収支計算書

2023年 4月 1日から
2024年 3月 31日まで

(単位:円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 納 付 金 収 入	7,342,130,000	7,239,034,880	103,095,120
手 数 料 収 入	229,773,000	238,861,260	△ 9,088,260
寄 付 金 収 入	606,699,000	620,610,511	△ 13,911,511
補 助 金 収 入	2,308,131,000	3,495,618,480	△ 1,187,487,480
国庫補助金収入	2,008,369,000	1,856,294,733	152,074,267
地方公共団体補助金収入	299,762,000	1,639,323,747	△ 1,339,561,747
資 産 売 却 収 入	0	2,002,688,500	△ 2,002,688,500
付随事業・収益事業収入	50,005,994,000	50,225,531,389	△ 219,537,389
事業収入	1,609,863,000	1,753,451,415	△ 143,588,415
医療収入	48,396,131,000	48,472,079,974	△ 75,948,974
受取利息・配当金収入	231,620,000	266,608,833	△ 34,988,833
雑 収 入	684,669,000	768,309,226	△ 83,640,226
借 入 金 等 収 入	243,481,000	235,864,504	7,616,496
前 受 金 収 入	1,113,243,000	1,063,676,326	49,566,674
そ の 他 の 収 入	12,368,334,627	12,107,347,119	260,987,508
資金収入調整勘定	△ 12,055,098,436	△ 12,091,363,517	36,265,081
前年度繰越支払資金	14,284,410,470	14,284,410,470	
収入の部合計	77,363,386,661	80,457,197,981	△ 3,093,811,320
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	23,868,195,000	23,563,734,585	304,460,415
教職員等人件費支出	23,136,148,000	22,718,259,885	417,888,115
退職金支出	732,047,000	845,474,700	△ 113,427,700
教 育 研 究 経 費 支 出	3,980,745,900	3,202,214,062	778,531,838
医 療 経 費 支 出	26,310,333,730	26,608,150,637	△ 297,816,907
管 理 経 費 支 出	1,372,664,957	1,122,153,705	250,511,252
借 入 金 等 利 息 支 出	25,080,000	24,281,350	798,650
借 入 金 等 返 済 支 出	905,151,000	879,505,382	25,645,618
施 設 関 係 支 出	6,185,465,144	3,118,236,074	3,067,229,070
設 備 関 係 支 出	1,387,964,353	1,264,340,536	123,623,817
資 産 運 用 支 出	500,000,000	5,809,807,000	△ 5,309,807,000
そ の 他 の 支 出	9,013,486,449	8,845,462,515	168,023,934
[予 備 費]	[92,195,084]		
	107,804,916		107,804,916
資金支出調整勘定	△ 7,316,637,187	△ 7,994,906,422	678,269,235
翌年度繰越支払資金	11,023,132,399	14,014,218,557	△ 2,991,086,158
支出の部合計	77,363,386,661	80,457,197,981	△ 3,093,811,320

表4

貸 借 対 照 表

2024年 3月 31日

(単位:円)

資 産 の 部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産		82,934,525,633	80,577,166,380	2,357,359,253
	有 形 固 定 資 産	57,307,227,919	56,879,291,858	427,936,061
	土 地	15,581,449,731	15,585,027,616	△ 3,577,885
	建 物 ・ 構 築 物	29,988,531,376	31,754,870,383	△ 1,766,339,007
	教 育 研 究 用 機 器 備 品	7,293,908,352	7,961,109,206	△ 667,200,854
	管 理 用 機 器 備 品	118,643,622	141,116,411	△ 22,472,789
	図 書	399,449,796	388,947,554	10,502,242
	建 設 仮 勘 定	3,909,662,650	1,029,193,756	2,880,468,894
	そ の 他	15,582,392	19,026,932	△ 3,444,540
	特 定 資 産	8,777,485,000	8,273,700,000	503,785,000
	退 職 給 与 引 当 特 定 資 産	1,000,000,000	1,000,000,000	0
	教 育 施 設 設 備 等 引 当 特 定 資 産	200,000,000	200,000,000	0
	第 2 号 基 本 金 引 当 特 定 資 産	3,006,485,000	2,502,700,000	503,785,000
	第 3 号 基 本 金 引 当 特 定 資 産	4,571,000,000	4,571,000,000	0
	そ の 他 の 固 定 資 産	16,849,812,714	15,424,174,522	1,425,638,192
	そ の 他	16,849,812,714	15,424,174,522	1,425,638,192
流 動 資 産		34,737,741,791	34,370,427,890	367,313,901
	現 金 預 金	14,014,218,557	14,284,410,470	△ 270,191,913
	有 価 証 券	9,100,000,000	7,400,000,000	1,700,000,000
	そ の 他	11,623,523,234	12,686,017,420	△ 1,062,494,186
資 産 の 部 合 計		117,672,267,424	114,947,594,270	2,724,673,154
負 債 の 部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 負 債		17,797,068,422	18,345,067,762	△ 547,999,340
	長 期 借 入 金	7,942,407,000	8,577,617,000	△ 635,210,000
	退 職 給 与 引 当 金	7,392,899,231	7,362,754,670	30,144,561
	長 期 未 払 金	377,102,991	189,745,692	187,357,299
	長 期 前 受 金	2,084,659,200	2,214,950,400	△ 130,291,200
流 動 負 債		10,202,065,509	11,004,715,877	△ 802,650,368
	短 期 借 入 金	871,074,504	879,505,382	△ 8,430,878
	1 年 以 内 償 還 予 定 学 校 債	10,000,000	10,000,000	0
	前 受 金	1,193,967,526	1,217,690,436	△ 23,722,910
	そ の 他	8,127,023,479	8,897,520,059	△ 770,496,580
負 債 の 部 合 計		27,999,133,931	29,349,783,639	△ 1,350,649,708
純 資 産 の 部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
基 本 金		124,441,050,012	120,485,600,707	3,955,449,305
	第 1 号 基 本 金	113,092,565,012	109,640,900,707	3,451,664,305
	第 2 号 基 本 金	3,006,485,000	2,502,700,000	503,785,000
	第 3 号 基 本 金	4,571,000,000	4,571,000,000	0
	第 4 号 基 本 金	3,771,000,000	3,771,000,000	0
繰越収支差額		△ 34,767,916,519	△ 34,887,790,076	119,873,557
翌年度繰越収支差額		△ 34,767,916,519	△ 34,887,790,076	119,873,557
純 資 産 の 部 合 計		89,673,133,493	85,597,810,631	4,075,322,862
負債及び純資産の部合計		117,672,267,424	114,947,594,270	2,724,673,154

注記 減価償却額の累計額
基本金未組入額

64,486,048,772 円
8,762,940,332 円

表5

主要な財務比率の推移

貸借対照表関係財務比率

		2019	2020	2021	2022	2023
① 固定比率	固定資産／純資産(自己資金)	106.6%	104.3%	99.2%	94.1%	92.5%
② 固定長期適合率	固定資産／純資産(自己資金)＋固定負債	84.6%	82.5%	80.2%	77.5%	77.2%
③ 流動比率	流動資産／流動負債	239.2%	284.9%	299.5%	312.3%	340.5%
④ 総負債比率	総負債／総資産	28.6%	27.7%	26.4%	25.5%	23.8%
⑤ 退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産／退職給与引当金	14.7%	14.4%	13.7%	13.6%	13.5%
⑥ 基本金比率	基本金／基本金要組入額	92.5%	94.5%	96.4%	97.6%	99.1%

・ 純資産 = 基本金 + 繰越収支差額 (自己資金 = 基本金 + 消費収支超過額)

事業活動収支計算書関係財務比率

		2019	2020	2021	2022	2023
① 人件費比率	人件費／経常収入	39.5%	40.0%	38.3%	38.2%	37.6%
② 教育研究経費比率	教育研究経費／経常収入	8.5%	8.2%	8.2%	8.0%	7.8%
③ 医療経費比率	医療経費／経常収入	43.1%	42.2%	40.8%	43.3%	46.2%
④ 借入金等利息比率	借入金等利息／経常収入	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤ 基本金組入後収支比率	事業活動支出／(事業活動収入－基本金組入額)	101.9%	98.8%	94.3%	95.5%	99.8%
⑥ 学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金／経常収入	13.0%	12.8%	11.9%	11.7%	11.5%
⑦ 事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	5.8%	7.7%	10.5%	6.5%	6.5%

・ 経常収入 = 教育活動収入 + 教育活動外収入

財務数値(貸借対照表関係)

(単位:百万円)

	2019	2020	2021	2022	2023
1 固定資産	74,959	78,087	80,799	80,577	82,935
2 流動資産	23,536	25,510	29,860	34,370	34,738
3 純資産(自己資金)	70,329	74,887	81,481	85,598	89,673
4 固定負債	18,326	19,758	19,208	18,345	17,797
5 流動負債	9,840	8,953	9,970	11,005	10,202
6 総資産	98,495	103,598	110,659	114,948	117,672
7 総負債	28,166	28,711	29,178	29,350	27,999
8 退職給与引当特定資産	1,015	1,009	1,000	1,000	1,000
9 退職給与引当金	6,908	7,025	7,291	7,363	7,393
10 基本金	114,790	118,690	121,874	120,486	124,441
11 基本金要組入額	124,073	125,568	126,365	123,401	125,627

財務数値(事業活動支計算書関係)

	2019	2020	2021	2022	2023
1 人件費	22,985	23,459	23,924	24,086	23,594
2 教育研究経費	4,965	4,796	5,094	5,030	4,870
3 医療経費	25,043	24,720	25,519	27,296	28,993
4 借入金等利息	38	34	31	28	24
5 事業活動収入(帰属収入)	58,318	59,205	62,771	63,180	62,913
6 経常収入	58,137	58,609	62,493	63,027	62,768
7 事業活動収入－基本金組入額 (消費収入)	53,872	55,304	59,587	61,836	58,957
8 事業活動支出(消費支出)	54,913	54,647	56,177	59,063	58,838
9 学生生徒納付金収入	7,572	7,527	7,440	7,367	7,239

財務比率の説明

貸借対照表関係財務比率

- ① 固定比率
固定資産の純資産に対する割合で、土地、建物、施設等の固定資産にどの程度純資産が投下されているか、資金の調達源泉とその使途とを対比させる関係比率である。低い値がよい。
- ② 固定長期適合率
固定資産の、純資産と固定負債を合計した長期資金に対する割合である。低い値がよい。
- ③ 流動比率
流動負債に対する流動資産の割合。1年以内に償還しなければならない流動負債に対して、現金預金又は1年以内に現金化が可能な流動資産がどの程度用意されているかという資金流動性すなわち短期的な支払能力を判断する重要な指標の一つ。一般に金融機関等では、200%以上であれば優良とみなしており、100%を切っている場合には、流動負債を固定資産に投下していることが多く、資金繰りに窮しているとみることができる。したがって、高い値がよい。
- ④ 総負債比率
固定負債と流動負債を合計した負債総額の総資産に対する割合。この比率は、総資産に対する他人資金の比重を評価する極めて重要な関係比率である。低い値がよい。
- ⑤ 退職給与引当特定資産保有率
固定負債の中の退職給与引当金と、その他の固定資産の中の退職給与引当特定資産との関係比率である。高い値がよい。
- ⑥ 基本金比率
基本金組入対象資産額である要組入額に対する組入済基本金の割合。この比率の上限は100%であり、100%に近いほど未組入額が少ないことを示している。100%に近づくほうが望ましい。

事業活動収支計算書関係財務比率

- ① 人件費比率
人件費の経常収入に対する割合を示す重要な比率。この比率が特に高くなると経常支出全体を大きく膨張させ、経常収支の悪化を招きやすい。また、いったん上昇した人件費比率の低下を図ることは容易ではない。
- ② 教育研究経費比率
教育研究経費の経常収入に対する割合。高い値がよいが、経常収支の均衡を崩さない程度であればよい。
- ③ 医療経費比率
医療経費の経常収入に対する割合。高度な医療を提供することで、どうしても医療経費が高くなるが、効率を考えると当然低い値がよい。
- ④ 借入金等利息比率
借入金等利息の経常収入に対する割合。低い値がよい。
- ⑤ 基本金組入後収支比率
事業活動収入から基本金組入額を控除した額に対する事業活動支出が占める割合を示す比率である。一般的には、収支が均衡する100%前後が望ましいと考えられるが、臨時的な固定資産の取得等による基本金組入れが著しく大きい年度において一時的に急上昇することがあり、基本金の組入状況及びその内容を考慮して分析する必要がある。
- ⑥ 学生生徒等納付金比率
学生生徒等納付金の経常収入に占める割合である。安定的に推移することが望ましいが、一概に高い値がよいとか低い値がよいとかはいえない。ただ、高水準で納付金に依存するよりは相対的にこの比率が低いほうがよい場合もある。
- ⑦ 事業活動収支差額比率
事業活動収入に対する基本金組入前の当期収支差額が占める割合であり、この比率がプラスで大きくなるほど自己資金は充実されていることになり、経営に余裕があるものとみなすことができる。この比率がマイナスになる場合は、当年度の事業活動収入で事業活動支出を賄うことができないことを示し、基本金組入前で既に事業活動支出超過の状況にある。マイナスが大きくなるほど経営は窮迫し、いずれ資金繰りにも困難をきたすこととなる。

表6

キャッシュ・フローの推移

(単位:千円)

区分	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1. 教育研究活動によるキャッシュ・フロー					
学生納付金収入	7,571,947	7,526,898	7,439,940	7,366,958	7,239,035
手数料収入	226,379	195,836	200,796	220,925	238,861
寄付金収入	736,266	736,119	735,863	657,193	620,611
補助金収入	2,402,797	4,030,573	6,325,982	5,888,346	3,495,618
受取利息・資産運用収入	56,375	117,803	148,672	206,017	266,609
事業収入	1,672,835	1,751,276	1,656,141	1,501,234	1,753,451
医療収入	44,150,492	43,211,320	44,265,500	45,672,758	48,472,080
雑収入	568,459	437,700	799,410	753,067	768,309
前受金収入	2,384,715	2,459,381	1,115,202	1,087,399	1,063,676
その他の収入	8,931,514	9,223,904	10,339,431	10,136,746	12,008,274
資金収入調整勘定(注1)	△ 10,332,421	△ 11,472,801	△ 11,390,447	△ 13,263,031	△ 12,091,364
小計 (1)	58,369,358	58,218,009	61,636,490	60,227,612	63,835,160
人件費支出	22,761,901	23,341,624	23,658,192	24,013,471	23,563,735
教育研究経費支出	25,703,922	24,915,732	26,490,608	28,318,898	29,810,365
教育研究経費支出	3,177,773	2,923,676	3,340,334	3,375,485	3,202,214
医療経費支出	22,526,148	21,992,057	23,150,275	24,943,413	26,608,151
管理経費支出	1,258,175	1,420,577	1,399,699	1,273,916	1,122,154
借入金等利息支出	38,436	34,451	31,188	27,878	24,281
その他の支出	8,076,898	6,731,104	6,298,253	7,334,144	8,532,869
資金支出調整勘定(注2)	△ 7,025,409	△ 6,183,581	△ 7,378,948	△ 8,387,921	△ 7,994,906
小計 (2)	50,813,923	50,259,907	50,498,992	52,580,386	55,058,498
教育研究活動による正味キャッシュ・フロー1 {(1)-(2)}	7,555,435	7,958,102	11,137,498	7,647,226	8,776,662
2. 施設等整備活動によるキャッシュ・フロー					
資産売却収入(動産・不動産売却収入)	85,100	0	0	5,888	2,689
小計 (3)	85,100	0	0	5,888	2,689
施設関係支出	1,936,838	1,602,474	702,639	1,209,455	3,118,236
設備関係支出	2,512,529	2,155,833	1,449,746	1,927,811	1,264,341
小計 (4)	4,449,367	3,758,307	2,152,385	3,137,266	4,382,577
施設等整備活動によるキャッシュ・フロー2 {(3)-(4)}	△ 4,364,267	△ 3,758,307	△ 2,152,385	△ 3,131,378	△ 4,379,888
事業正味キャッシュ・フロー(1+2)	3,191,168	4,199,795	8,985,113	4,515,848	4,396,774
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー					
短期借入金純増加額	58,371	△ 39,834	52,635	△ 34,465	△ 8,431
長期借入金収入	0	891,000	0	0	0
長期借入金返済支出	875,593	1,190,870	670,490	661,670	635,210
小計 (5)	△ 817,222	△ 339,704	△ 617,855	△ 696,135	△ 643,641
有価証券売却収入	1,512,345	6,049,318	3,225,228	1,000,000	2,000,000
有価証券購入支出	4,292,560	8,910,890	10,800,000	4,583,250	5,809,807
小計 (6)	△ 2,780,215	△ 2,861,572	△ 7,574,772	△ 3,583,250	△ 3,809,807
その他の収入	50,595	121,094	85,551	80,456	99,073
その他の支出	329,795	351,460	354,734	367,341	312,593
小計 (7)	△ 279,200	△ 230,366	△ 269,183	△ 286,885	△ 213,520
引当資産から支払資金へ	0	2,376	9,704	1,001,000	0
支払資金から引当資産へ	500,000	505,973	0	500,000	0
小計 (8)	△ 500,000	△ 503,597	9,704	501,000	0
財務活動によるキャッシュ・フロー3 {(5)+(6)+(7)+(8)}	△ 4,376,637	△ 3,935,239	△ 8,452,106	△ 4,065,270	△ 4,666,968
繰越支払資金の増加額 A (1+2+3)	△ 1,185,469	264,556	533,007	450,578	△ 270,194
前年度繰越支払資金 B	14,221,738	13,036,269	13,300,825	13,833,832	14,284,410
次年度繰越支払資金 (A+B)	13,036,269	13,300,825	13,833,832	14,284,410	14,014,216

注1. 資金収入調整勘定: 前期末前受金、期末未収入金

注2. 資金支出調整勘定: 前期末前払金、期末未払金、期末長期未払金

財産目録

I 資産総額	117,672,267,424 円
内 基本財産	71,364,828,572 円
運用財産	46,307,438,852 円
収益事業用財産	0 円
II 負債総額	27,999,133,931 円
III 正味財産	89,673,133,493 円

区分	金額
資産額	
1 基本財産	71,364,828,572 円
土地	155,406.14 m ² 15,581,449,731 円
建物	217,423.78 m ² 29,518,814,333 円
図書	78,846 冊 399,449,796 円
教具・校具・備品	19,285 点 7,412,551,974 円
その他	18,452,562,738 円
2 運用財産	46,307,438,852 円
現金預金	14,014,218,557 円
その他	32,293,220,295 円
3 収益事業用財産	0 円
資産総額	117,672,267,424 円
負債額	
1 固定負債	17,797,068,422 円
長期借入金	7,942,407,000 円
その他	9,854,661,422 円
2 流動負債	10,202,065,509 円
短期借入金	871,074,504 円
その他	9,330,991,005 円
負債総額	27,999,133,931 円
正味財産(資産総額－負債総額)	89,673,133,493 円

※1 基本財産：学校法人の設置する私立学校に必要な施設及び設備又はこれらに要する資金

※2 運用財産：学校法人の設置する私立学校の経営に必要な財産

2023年度監事監査報告書

2024年5月30日

学校法人 兵庫医科大学
理 事 会 御中
評 議 員 会 御中

監 事 森田 泰夫 
監 事 正木 義博 
監 事 後藤 研了 

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人兵庫医科大学寄附行為第17条の規定に基づき、学校法人兵庫医科大学監事監査規程(以下「監事監査規程」という)により、学校法人兵庫医科大学の2023年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。その方法及び結果について以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法

私たちは監査にあたり、常務会、経営常務会、理事会、評議員会及びその他重要会議に出席するほか、2023年度監事監査計画で取り上げた各キャンパスにおける業務の状況について、各担当理事その他からの状況の聴取または書面提出及び内部監査室から内部監査の報告の聴取並びに私立学校振興助成法第14条3項の規定に基づく会計監査を実施している監査法人から、監査の実施状況及びその結果について報告を受け、さらに、学校法人の業務並びに財産の状況について意見を述べるに当たり、必要と認めた監査手続を監事監査規程に基づき実施しました。

2. 監査の結果

学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表並びに財産目録等は、会計帳簿の記録と合致し、その収支及び財産の状況を、事業報告書は学校法人の状況を適切に表示しており、業務又は財産に関する不正の行為、または、法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上

学校法人 兵庫医科大学

2023 年度 事業報告書

発行日 : 2024 年 6 月 24 日

発 行 : 学校法人 兵庫医科大学

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1

TEL. 0798-45-6111(代)

編 集 : 学校法人兵庫医科大学 総務部総務課
